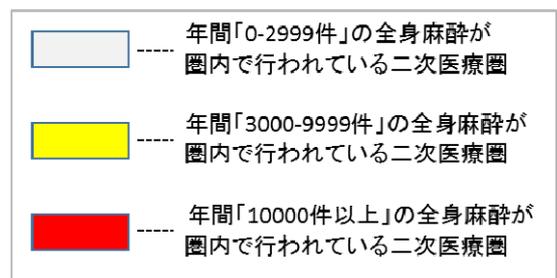
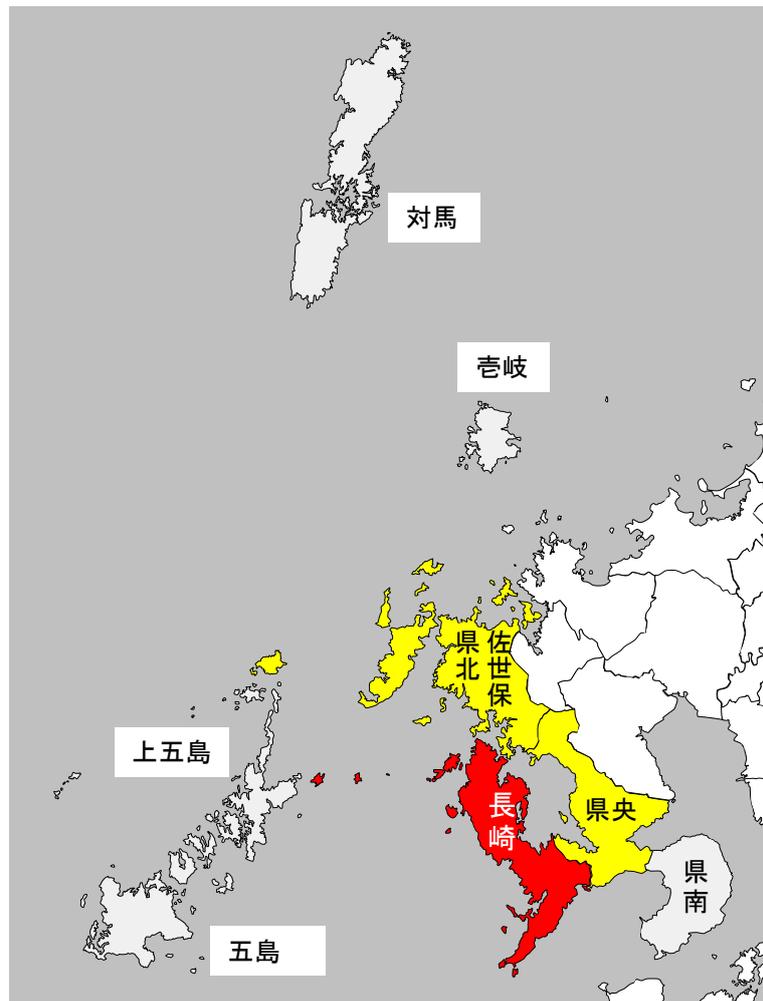


42. 長崎県



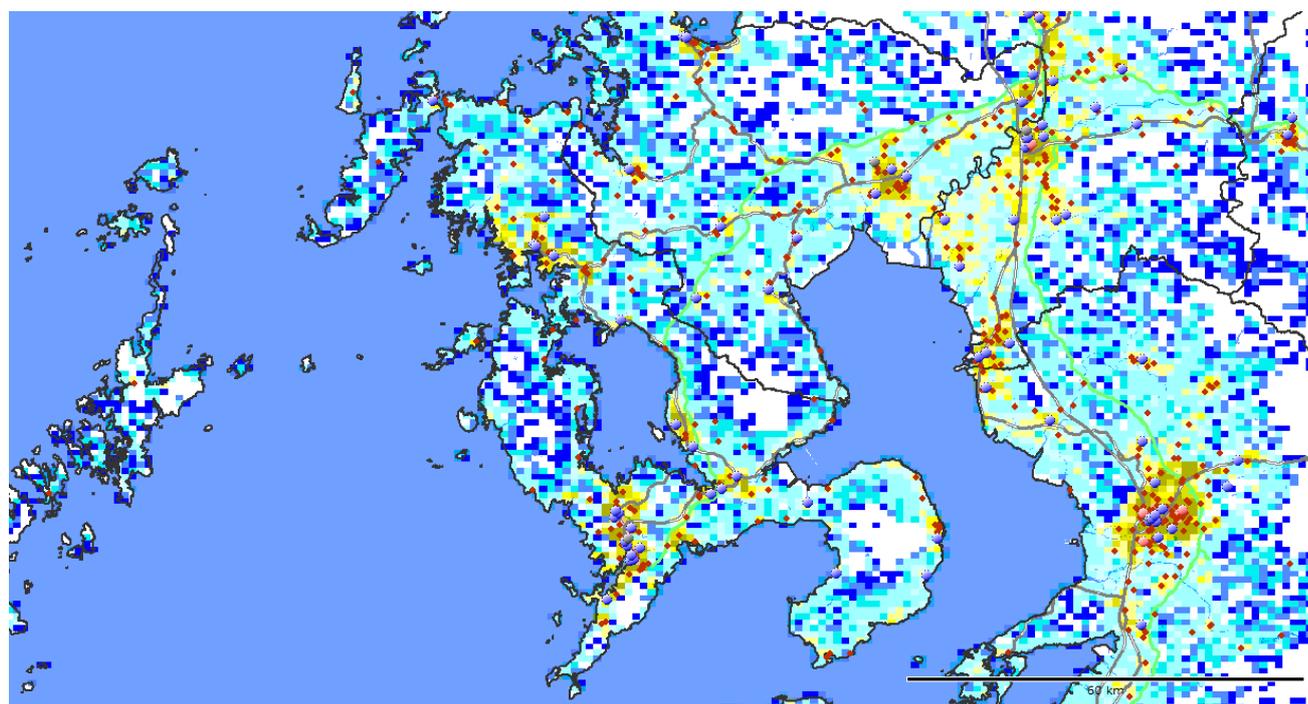
42. 長崎県

目次

長崎県.....	42 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	42 - 7
1. 長崎医療圏.....	42 - 19
2. 佐世保県北医療圏.....	42 - 23
3. 県央医療圏.....	42 - 27
4. 県南医療圏.....	42 - 31
5. 五島医療圏.....	42 - 35
6. 上五島医療圏.....	42 - 39
7. 壱岐医療圏.....	42 - 43
8. 対馬医療圏.....	42 - 47

42. 長崎県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

¹ 長崎県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(長崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 長崎県は、総人口約 1371 千人(2015 年推計)、面積 4105 km²、人口密度は 334 人/km²である。

*人口の将来予測： 長崎県の総人口は 2025 年に 1250 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 1049 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 216 千人が、2025 年にかけて 252 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 260 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 長崎県の一人当たり医療費(国保)は 369 千円(偏差値 64)、介護給付費は 294 千円(偏差値 62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 長崎県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.88 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 56(病院医師数 56、診療所医師数 56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 66 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 59 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 64 と多く、回復期病床数は偏差値 56 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 64 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 63 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 長崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、21522 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 12308 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 9214 床(偏差値 54)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17825 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 51、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 61、グループホーム 69、サ高住 52 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 63 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2652 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は20587床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は16300床であり、その差は-4287床(-21%)である。

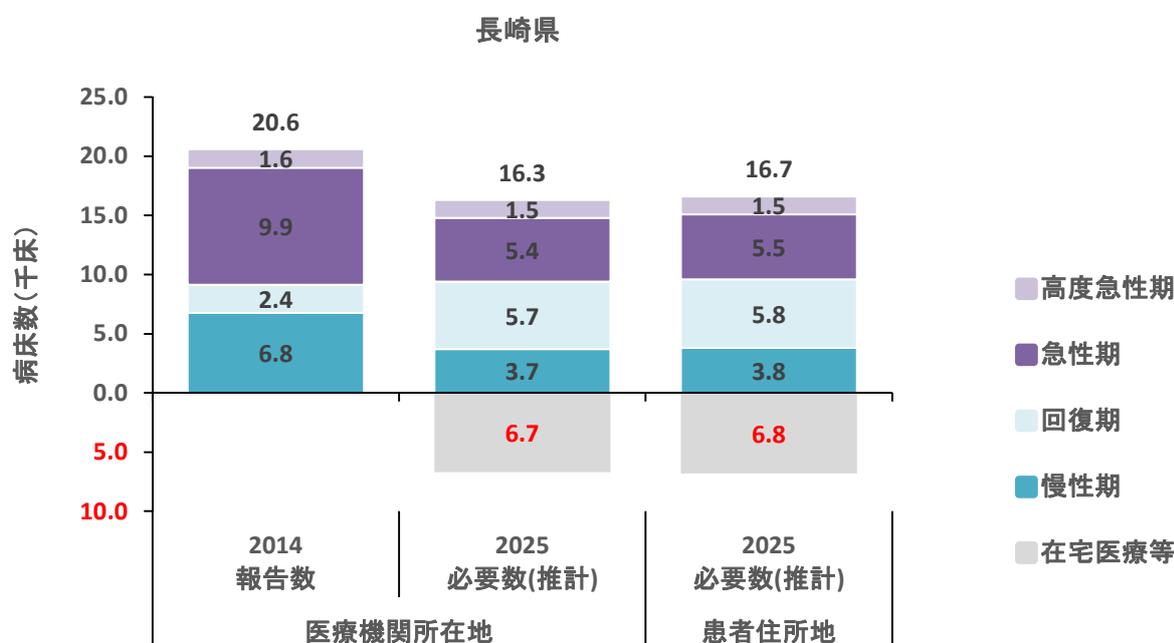
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1551床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1500床であり、その差は-51床(-3%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は9891床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5400床であり、その差は-4491床(-45%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は2391床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5700床であり、その差は+3309床(+138%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は6754床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3700床であり、その差は-3054床(-45%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は6700人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

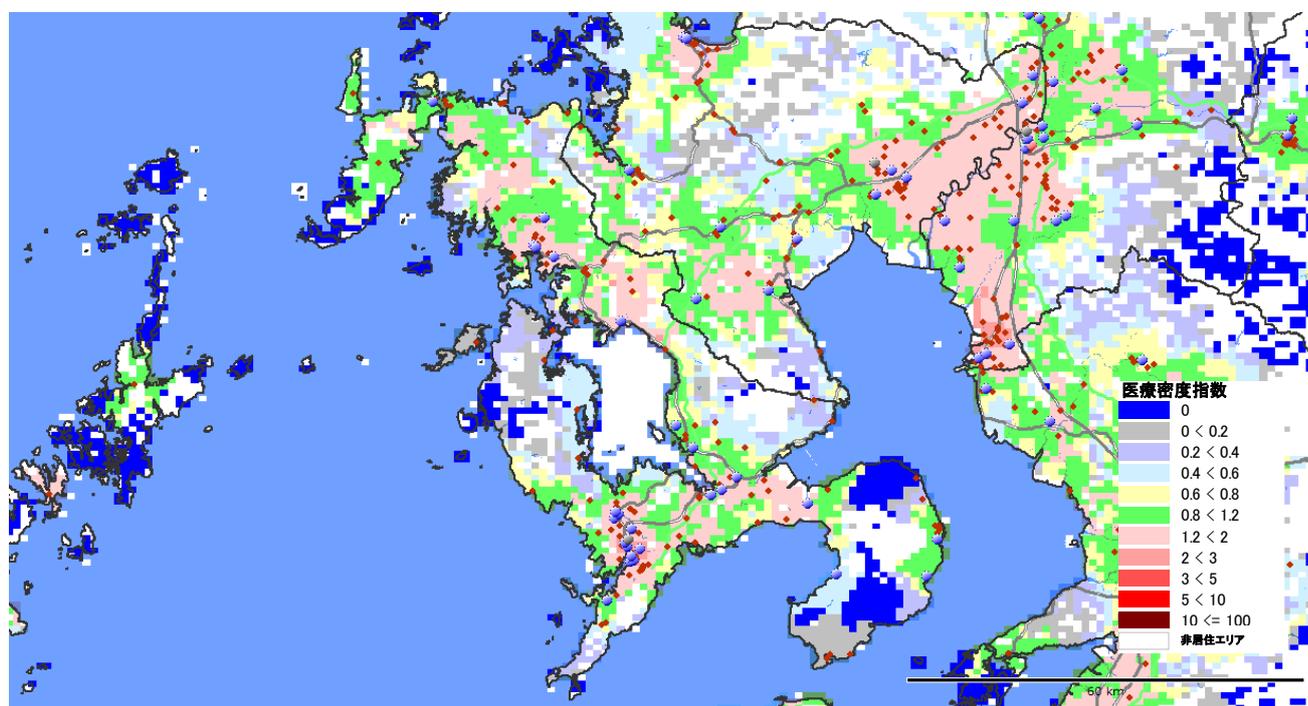
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

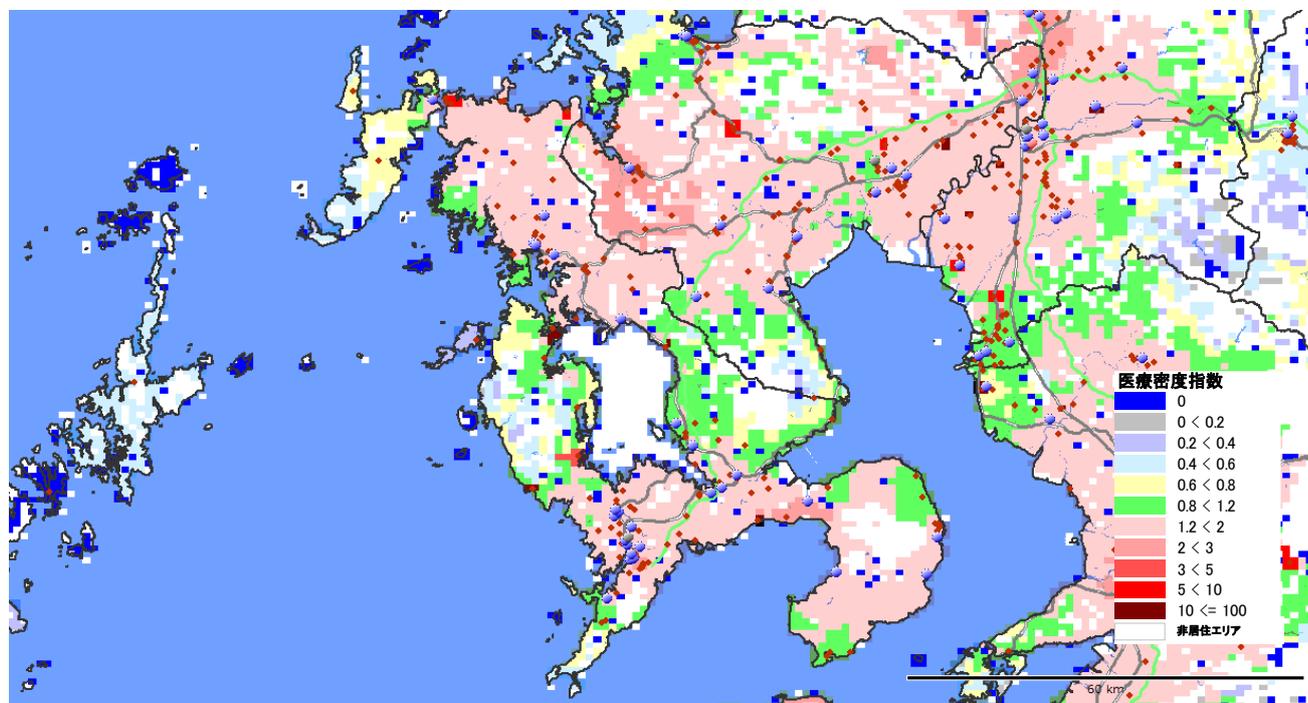
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 42-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
長崎県	1,371	29位	4,105	37位	333.9		30%	1,250	1,049	216	252	260	-9%	-16%	17%	3%
長崎	531	39%	698	17%	761.2	地方都市型	29%	491	418	78	96	102	-8%	-15%	23%	6%
佐世保県北	320	23%	825	20%	387.9	地方都市型	30%	290	241	51	59	57	-9%	-17%	16%	-3%
県央	266	19%	615	15%	432.0	地方都市型	27%	253	225	36	46	51	-5%	-11%	28%	11%
県南	136	10%	460	11%	296.6	地方都市型	34%	119	95	26	28	28	-13%	-20%	8%	0%
五島	37	3%	421	10%	87.9	過疎地域型	37%	31	22	8	8	8	-16%	-29%	0%	0%
上五島	22	2%	239	6%	92.3	過疎地域型	39%	17	12	5	5	4	-23%	-29%	0%	-20%
壱岐	27	2%	139	3%	197.4	地方都市型	35%	24	19	5	6	5	-11%	-21%	20%	-17%
対馬	31	2%	709	17%	43.8	過疎地域型	34%	25	18	6	6	5	-19%	-28%	0%	-17%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 42-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
長崎県	1.12	1.88	8.1%	-7.3%	-10.8%
長崎	1.34	2.15	-7.9%	-32.4%	-40.0%
佐世保県北	1.14	1.60	19.5%	7.2%	10.2%
県央	1.07	2.20	-23.0%	-55.7%	-75.4%
県南	0.55	0.66	20.4%	16.5%	15.0%
五島	1.04	1.06	19.9%	21.4%	23.4%
上五島	0.51	2.75	18.3%	22.6%	28.7%
壱岐	0.81	0.82	-30.2%	-31.2%	-17.7%
対馬	0.84	2.05	8.8%	6.7%	14.9%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

¹日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

42. 長崎県

資_図表 42-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
長崎県	369	64	294	62
長崎	375	66	296	63
佐世保県北	338	57	293	62
県央	364	63	250	50
県南	330	55	329	72
五島	316	52	367	82
上五島	317	52	333	72
壱岐	338	57	272	56
対馬	328	54	279	58
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 42-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
長崎県	159	1.9%	11.6	62	1,425	1.4%	104	63
長崎	56	35%	10.5	59	671	47%	126	74
佐世保県北	39	25%	12.2	63	281	20%	88	54
県央	31	19%	11.7	62	256	18%	96	59
県南	17	11%	12.5	64	106	7%	78	49
五島	5	3%	13.5	66	42	3%	113	67
上五島	1	1%	4.5	45	23	2%	104	63
壱岐	7	4%	25.6	95	16	1%	59	39
対馬	3	2%	9.7	57	30	2%	97	59
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 42-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
長崎県	1,425	1.4%	104	63	1,109	1.2%	81	55	316	3.4%	23.1	73
長崎	671	47%	126	74	566	51%	107	68	105	33%	19.8	68
佐世保県北	281	20%	88	54	198	18%	62	45	83	26%	25.9	77
県央	256	18%	96	59	184	17%	69	48	72	23%	27.1	78
県南	106	7%	78	49	66	6%	48	38	40	13%	29.3	82
五島	42	3%	113	67	30	3%	81	55	12	4%	32.4	86
上五島	23	2%	104	63	22	2%	100	65	1	0%	4.5	46
壱岐	16	1%	59	39	14	1%	51	39	2	1%	7.3	50
対馬	30	2%	97	59	29	3%	93	61	1	0%	3.2	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 42-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
長崎県	27,024	1.7%	1,971	64	4,453	3.7%	325	71	31,477	1.9%	2,296	67
長崎	11,426	42%	2,151	68	1,432	32%	270	66	12,858	41%	2,420	69
佐世保県北	6,008	22%	1,878	62	1,145	26%	358	74	7,153	23%	2,236	66
県央	5,634	21%	2,119	67	1,076	24%	405	78	6,710	21%	2,524	71
県南	2,216	8%	1,625	58	583	13%	428	80	2,799	9%	2,053	62
五島	560	2%	1,513	55	170	4%	459	83	730	2%	1,973	61
上五島	186	1%	842	42	17	0%	77	48	203	1%	919	43
壱岐	596	2%	2,180	68	24	1%	88	49	620	2%	2,267	66
対馬	398	1%	1,283	51	6	0%	19	43	404	1%	1,302	49
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

42. 長崎県

資_図表 42-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
長崎県	12,484	1.4%	911	59	6,410	2.0%	468	60	7,949	2.3%	580	64
長崎	5,020	40%	945	60	2,525	39%	475	60	3,837	48%	722	71
佐世保県北	2,818	23%	881	57	1,692	26%	529	63	1,472	19%	460	59
県央	2,648	21%	996	62	1,076	17%	405	57	1,843	23%	693	69
県南	878	7%	644	47	720	11%	528	63	614	8%	450	58
五島	432	3%	1,167	70	54	1%	146	45	60	1%	162	45
上五島	132	1%	597	45	50	1%	226	48	0	0%	0	38
壱岐	252	2%	922	59	256	4%	936	82	78	1%	285	51
対馬	304	2%	980	62	37	1%	119	43	45	1%	145	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 42-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
長崎県	1,208	1.6%	88	56	882	4.2%	64	56
長崎	643	53%	121	63	366	41%	69	57
佐世保県北	246	20%	77	54	133	15%	42	51
県央	199	16%	75	53	149	17%	56	55
県南	120	10%	88	56	183	21%	134	72
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	42
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	42
壱岐	0	0%	0	37	51	6%	187	84
対馬	0	0%	0	37	0	0%	0	42
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³福岡県・近畿厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

資_図表 42-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
長崎県	26,688	1.0%	1,947	49	12,900	1.2%	941	54
長崎	12,744	48%	2,399	54	4,224	33%	795	49
佐世保県北	6,396	24%	1,999	50	3,588	28%	1,121	60
県央	5,328	20%	2,004	50	3,000	23%	1,129	60
県南	864	3%	634	35	1,056	8%	775	48
五島	348	1%	940	38	348	3%	940	53
上五島	408	2%	1,847	48	144	1%	652	44
壱岐	348	1%	1,273	42	288	2%	1,053	57
対馬	252	1%	812	37	252	2%	812	49
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 42-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
長崎県	4,327	1.3%	316	56	2,761	1.3%	201	56	1,566	1.3%	114	56
長崎	2,134	49%	402	66	1,351	49%	254	64	783	50%	147	67
佐世保県北	829	19%	259	50	525	19%	164	50	305	19%	95	50
県央	843	19%	317	57	560	20%	211	57	283	18%	106	53
県南	274	6%	201	43	164	6%	120	43	110	7%	81	45
五島	85	2%	231	47	51	2%	137	46	35	2%	94	49
上五島	44	1%	198	43	26	1%	116	43	18	1%	81	45
壱岐	61	1%	223	46	47	2%	173	52	14	1%	50	35
対馬	57	1%	183	41	38	1%	123	44	19	1%	60	38
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

42. 長崎県

資_図表 42-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
長崎県	17,999	1.7%	1,313	66	14,659	1.6%	1,069	65	3,339	1.8%	244	64
長崎	7,281	40%	1,370	68	6,207	42%	1,168	69	1,075	32%	202	58
佐世保県北	4,395	24%	1,374	68	3,301	23%	1,032	64	1,094	33%	342	77
県央	3,729	21%	1,403	69	3,078	21%	1,158	69	652	20%	245	64
県南	1,474	8%	1,081	58	1,205	8%	884	58	269	8%	197	57
五島	390	2%	1,053	57	272	2%	734	51	118	4%	318	74
上五島	185	1%	835	50	114	1%	517	42	70	2%	318	74
壱岐	256	1%	938	53	234	2%	854	56	23	1%	84	42
対馬	289	2%	930	53	250	2%	804	54	39	1%	126	48
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 42-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
長崎県	2,163	1.9%	158	64	2,731	1.0%	199	48
長崎	1,105	51%	208	74	1,388	51%	261	54
佐世保県北	372	17%	116	56	558	20%	174	45
県央	375	17%	141	61	435	16%	164	44
県南	248	11%	182	69	187	7%	137	41
五島	14	1%	38	40	50	2%	135	41
上五島	9	0%	41	40	21	1%	95	37
壱岐	16	1%	59	44	45	2%	165	44
対馬	25	1%	80	48	47	2%	151	43
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 42-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
長崎県	312	2.2%	1.4	63	19	1.9%	0.1	54
長崎	162	52%	2.1	76	10	53%	0.1	61
佐世保県北	46	15%	0.9	51	2	11%	0.0	46
県央	72	23%	2.0	75	2	11%	0.1	49
県南	26	8%	1.0	53	3	16%	0.1	59
五島	1	0%	0.1	33	1	5%	0.1	60
上五島	0	0%	0	31	0	0%	0	39
壱岐	5	2%	0.9	51	1	5%	0.2	70
対馬	0	0%	0	31	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 42-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
長崎県	21,522	1.4%	100	52	12,308	1.3%	57	49	9,214	1.5%	43	54
長崎	6,919	32%	88	46	4,224	34%	54	46	2,695	29%	34	48
佐世保県北	6,072	28%	119	64	3,159	26%	62	52	2,913	32%	57	64
県央	3,048	14%	85	43	1,686	14%	47	41	1,362	15%	38	51
県南	3,123	15%	119	64	1,568	13%	60	51	1,555	17%	59	66
五島	909	4%	111	60	546	4%	67	56	363	4%	44	55
上五島	543	3%	108	58	395	3%	79	65	148	2%	29	45
壱岐	378	2%	69	34	340	3%	62	53	38	0%	7	29
対馬	530	2%	93	49	390	3%	69	58	140	2%	25	41
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

42. 長崎県

資_図表 42-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
長崎県	4,696	1.3%	22	50	6,634	1.2%	31	48	978	1.4%	4.5	51
長崎	1,663	35%	21	49	2,276	34%	29	46	285	29%	3.6	49
佐世保県北	1,056	22%	21	48	1,641	25%	32	49	462	47%	9.0	61
県央	680	14%	19	45	954	14%	27	44	52	5%	1.4	43
県南	617	13%	23	53	792	12%	30	47	159	16%	6.0	54
五島	200	4%	24	55	346	5%	42	59	0	0%	0	40
上五島	160	3%	32	68	235	4%	47	64	0	0%	0	40
壱岐	160	3%	29	63	160	2%	29	46	20	2%	3.6	49
対馬	160	3%	28	61	230	3%	40	57	0	0%	0	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
長崎県	1,010	0.5%	4.7	42	710	3.5%	3.3	61	4,792	2.6%	22.2	69
長崎	240	24%	3.1	40	100	14%	1.3	50	1,372	29%	17.5	61
佐世保県北	628	62%	12.3	50	380	54%	7.4	83	1,203	25%	23.5	72
県央	18	2%	0.5	38	50	7%	1.4	51	731	15%	20.3	66
県南	124	12%	4.7	42	130	18%	4.9	70	949	20%	36.1	94
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	43	321	7%	39.3	100
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	43	108	2%	21.5	68
壱岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	18	0%	3.3	36
対馬	0	0%	0	37	50	7%	8.8	90	90	2%	15.8	58
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
長崎県	2,702	1.4%	12.5	52	156	1.7%	0.7	51	2,546	1.4%	11.8	51
長崎	983	36%	12.6	52	100	64%	1.3	56	883	35%	11.3	51
佐世保県北	702	26%	13.7	54	0	0%	0	45	702	28%	13.7	55
県央	563	21%	15.7	57	0	0%	0	45	563	22%	15.7	58
県南	352	13%	13.4	53	36	23%	1.4	56	316	12%	12.0	52
五島	42	2%	5.1	40	0	0%	0	45	42	2%	5.1	40
上五島	40	1%	8.0	44	20	13%	4.0	78	20	1%	4.0	38
壱岐	20	1%	3.6	37	0	0%	0	45	20	1%	3.6	38
対馬	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
長崎県	2,248	1.5%	10.4	54	1,792	1.5%	8.3	55	456	1.2%	2.1	48
長崎	794	35%	10.1	53	576	32%	7.4	51	217	48%	2.8	56
佐世保県北	632	28%	12.4	62	565	32%	11.0	67	67	15%	1.3	38
県央	278	12%	7.7	44	212	12%	5.9	45	66	15%	1.8	45
県南	325	14%	12.4	62	266	15%	10.1	63	59	13%	2.2	50
五島	77	3%	9.5	51	55	3%	6.7	49	22	5%	2.7	56
上五島	40	2%	7.9	44	35	2%	7.0	50	5	1%	0.9	33
壱岐	59	3%	10.8	56	45	3%	8.2	55	14	3%	2.6	53
対馬	43	2%	7.6	43	38	2%	6.6	48	6	1%	1.0	34
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

42. 長崎県

資_図表 42-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
長崎県	20,477	1.4%	95	54	17,825	1.4%	82	55	2,652	1.2%	12.3	48
長崎	7,432	36%	95	54	6,105	34%	78	52	1,327	50%	16.9	57
佐世保県北	4,978	24%	97	56	4,519	25%	88	59	460	17%	9.0	42
県央	3,065	15%	85	48	2,655	15%	74	49	410	15%	11.4	46
県南	2,518	12%	96	55	2,374	13%	90	61	144	5%	5.5	36
五島	947	5%	116	68	803	5%	98	66	144	5%	17.7	58
上五島	602	3%	120	70	559	3%	111	75	43	2%	8.5	41
壱岐	446	2%	81	46	359	2%	65	44	87	3%	15.9	55
対馬	490	2%	86	49	452	3%	79	53	38	1%	6.7	38
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
長崎県	11,406	1.6%	53	53	3,200	0.9%	15	43	21,061	1.5%	97	54
長崎	5,306	47%	68	60	1,731	54%	22	51	11,547	55%	147	70
佐世保県北	2,980	26%	58	56	477	15%	9	37	3,404	16%	67	43
県央	2,145	19%	60	56	317	10%	9	36	2,328	11%	65	43
県南	834	7%	32	45	341	11%	13	41	1,857	9%	71	45
五島	113	1%	14	37	139	4%	17	45	850	4%	104	56
上五島	8	0%	2	32	30	1%	6	33	301	1%	60	41
壱岐	20	0%	4	33	129	4%	24	53	461	2%	84	49
対馬	0	0%	0	32	36	1%	6	34	313	1%	55	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-21 公的病院病床数、民間病院病床数

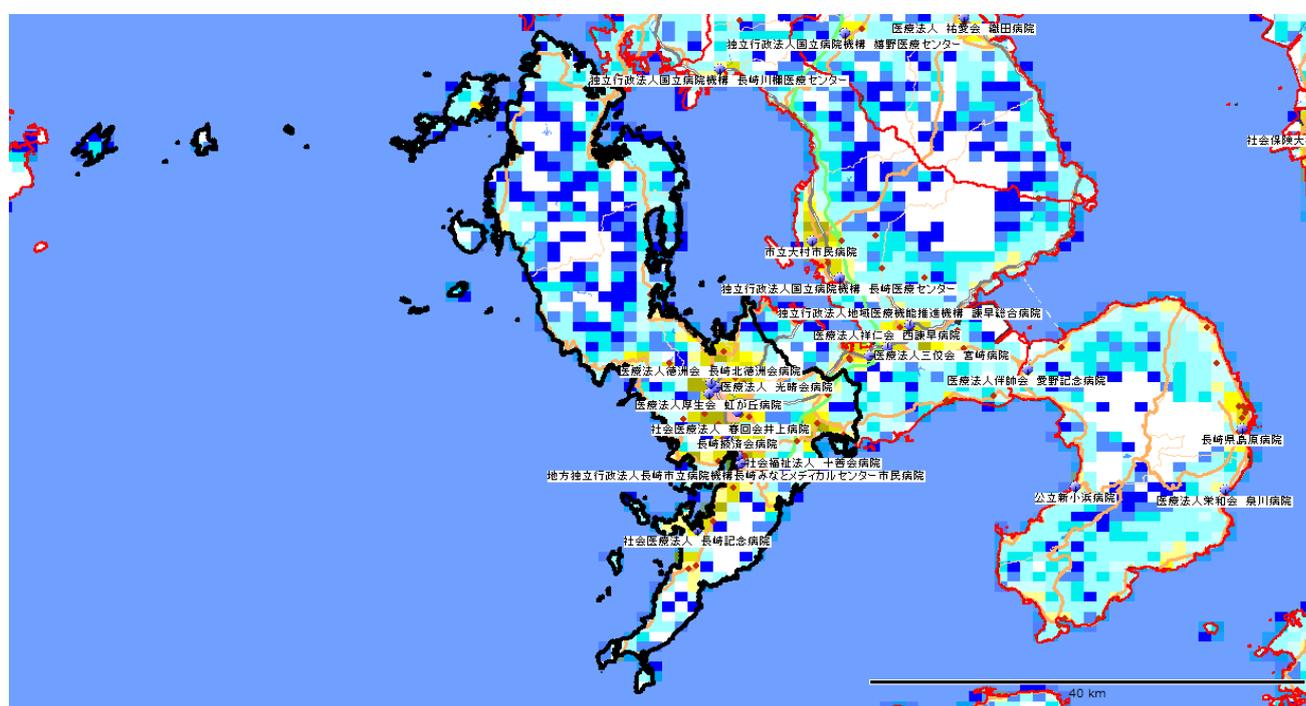
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
長崎県	7,794	7,002	250	18,632	5,111	6,120	57.8%	52	3.9%	48
長崎	2,436	2,350	0	8,735	2,595	2,511	47.5%	48	0.0%	46
佐世保県北	1,776	1,658	92	4,122	1,053	1,600	61.2%	54	5.4%	48
県央	2,070	1,835	0	3,505	757	1,077	70.8%	58	0.0%	46
県南	404	340	60	1,801	479	718	41.5%	46	7.7%	49
五島	359	285	0	149	95	54	75.0%	59	0.0%	46
上五島	186	132	50	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
壱岐	228	120	48	320	132	160	47.6%	48	23.1%	56
対馬	335	282	0	0	0	0	100.0%	70		
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

42. 長崎県

ながさき 42-1. 長崎医療圏

構成市区町村¹ 長崎市,西海市,長与町,時津町

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 長崎医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(長崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 長崎(長崎市)は、総人口約 531 千人(2015 年推計)、面積 698 km²、人口密度は 761 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 長崎の総人口は 2025 年に 491 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 418 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 78 千人が、2025 年にかけて 96 千人へと増加し(2015 年比+23%)、2040 年には 102 千人へと増加する(2025 年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 長崎の一人当たり医療費(国保)は 375 千円(偏差値 66)、介護給付費は 296 千円(偏差値 63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 長崎の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.15 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 66(病院医師数 64、診療所医師数 67)と、総医師数、診療所医師数ともに非常に多く、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は 68 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 60 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。長崎には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の長崎大学病院(I 群・救命)、1000 例以上の済生会長崎病院、長崎原爆病院、500 例以上の構長崎みなとメディカルセンター市民病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 74 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 71 で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 74 で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 長崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6919 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4224 床(偏差値 46)、高齢者住宅等が 2695 床(偏差値 48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6105 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 49、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 49、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 50、グループホーム 61、サ高住 52 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 76 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 61

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と多い。介護職員（在宅）の合計は、1327人（75歳以上1000人当たりの偏差値57）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

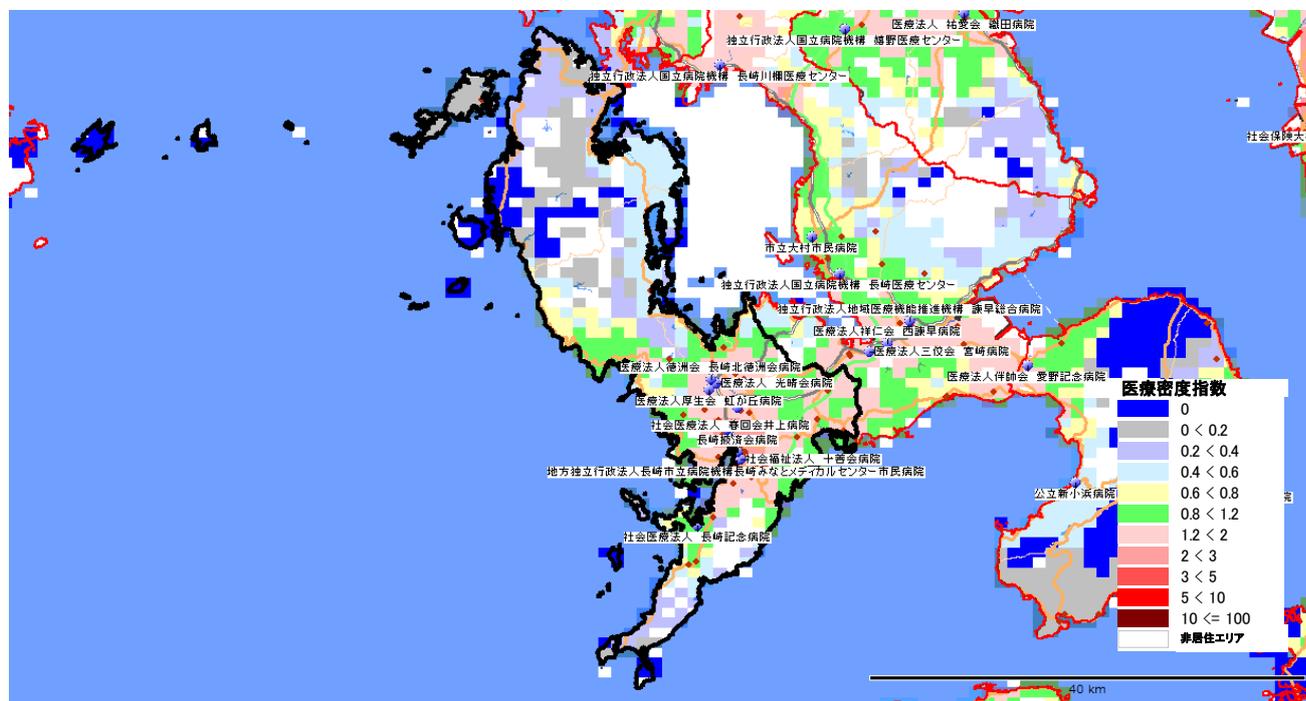
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-40%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

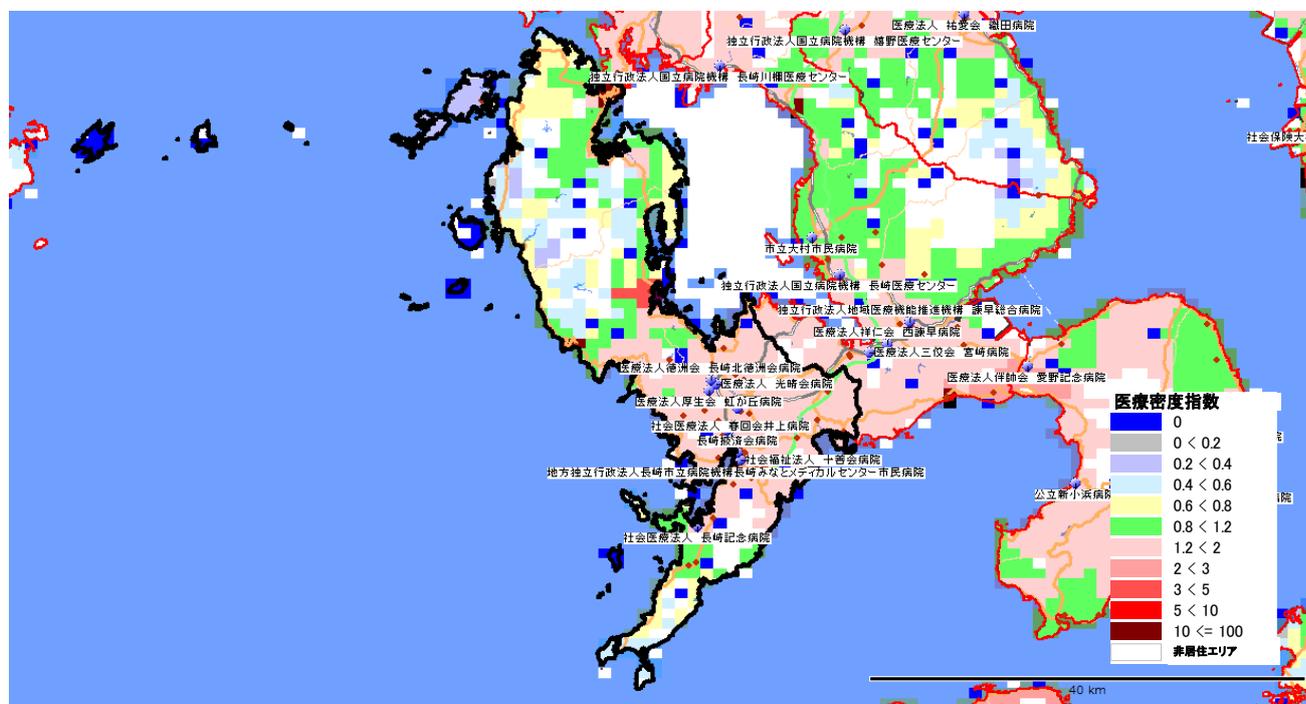
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-1-2 慢性期医療密度指数マップ

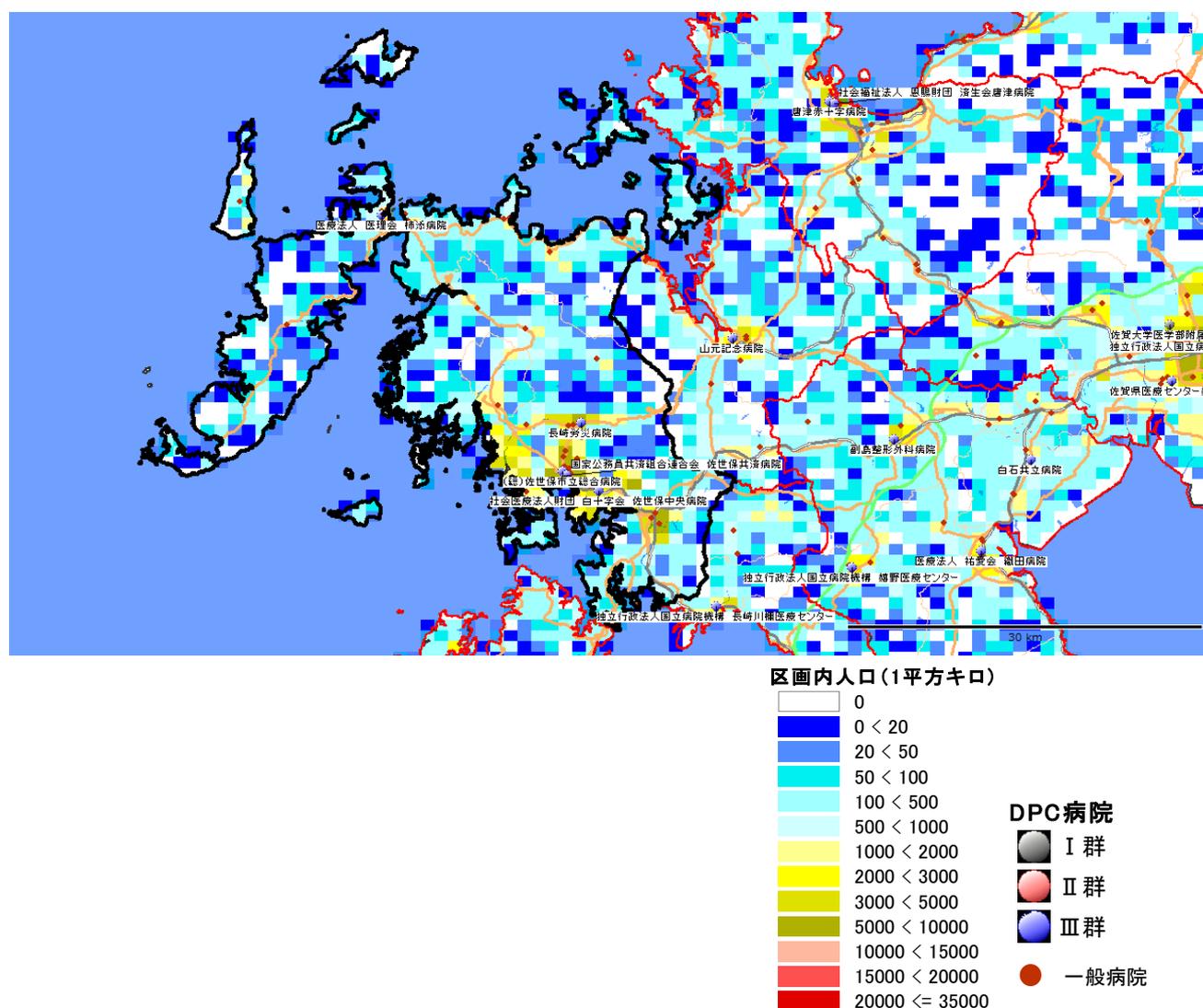


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

42-2. さ せ ぼ けん ほう 佐世保県北医療圏

構成市区町村¹ [佐世保市](#), [平戸市](#), [松浦市](#), [佐々町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 佐世保県北医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

42. 長崎県

(佐世保県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 佐世保県北(佐世保市)は、総人口約 320 千人(2015 年推計)、面積 825 km²、人口密度は 388 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 佐世保県北の総人口は 2025 年に 290 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 241 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 51 千人が、2025 年にかけて 59 千人へと増加し(2015 年比+16%)、2040 年には 57 千人へと減少する(2025 年比-3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 佐世保県北の一人当たり医療費(国保)は 338 千円(偏差値 57)、介護給付費は 293 千円(偏差値 62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 佐世保県北の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.6 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 50、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 68 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 57 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。佐世保県北には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の佐世保市立総合病院(救命)、1000 例以上の長崎労災病院、500 例以上の佐世保共済病院、佐世保中央病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 56 と多く、回復期病床数は偏差値 54 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 59 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 佐世保県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6072 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 3159 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 2913 床(偏差値 64)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4519 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 48、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 61、有料老人ホーム 50、軽費ホーム 83、グループホーム 72、サ高住 54 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 46 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、460 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42）で、75 歳以上人口あたりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

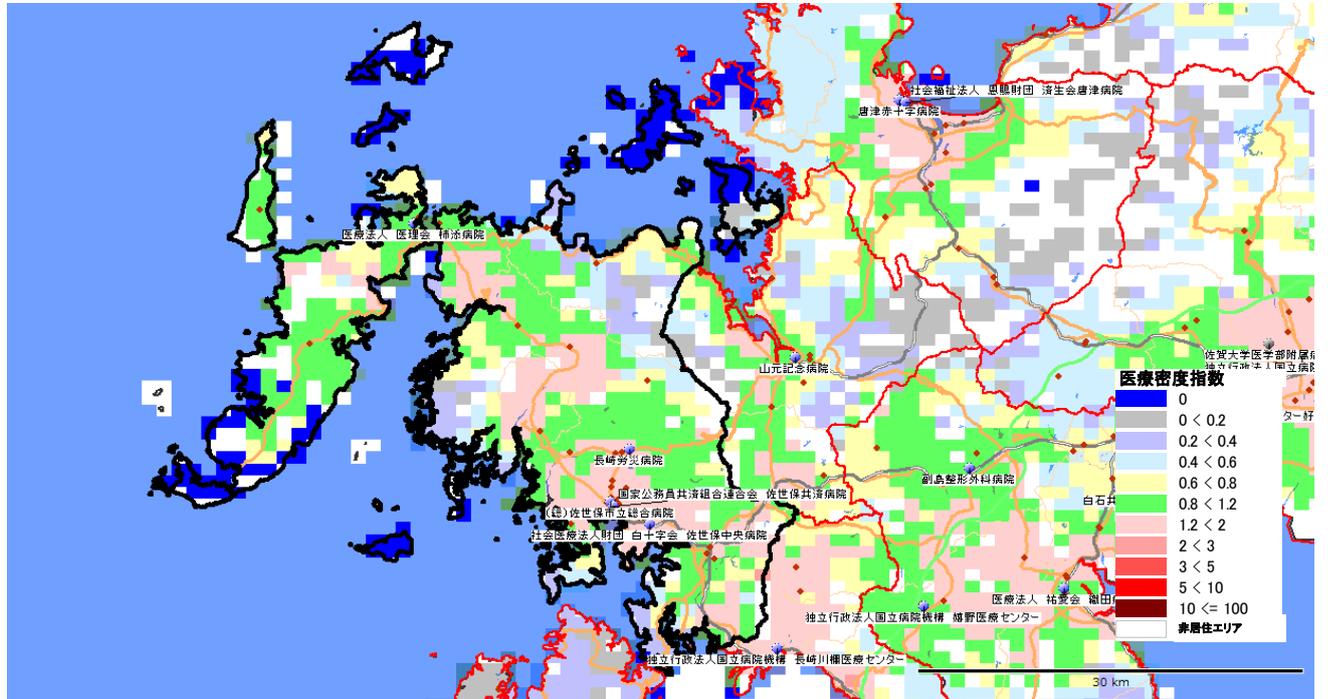
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+19%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+10%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人（推定）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

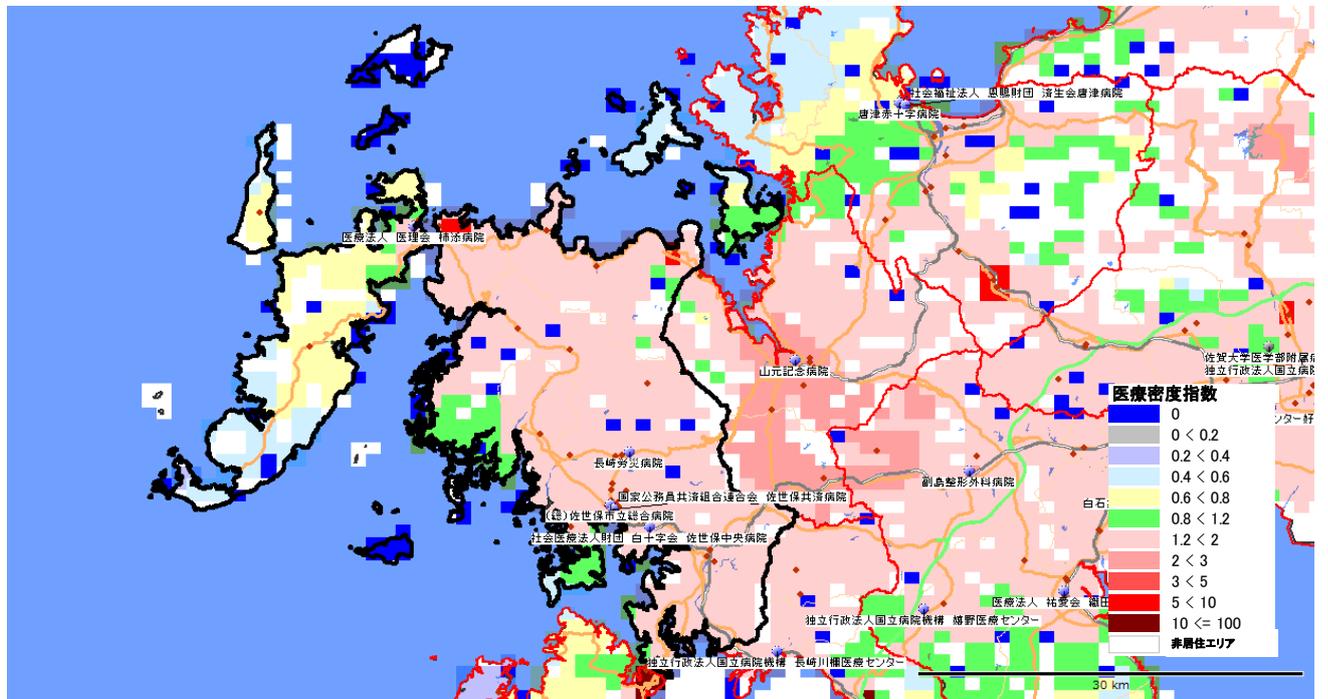
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-2-2 慢性期医療密度指数マップ



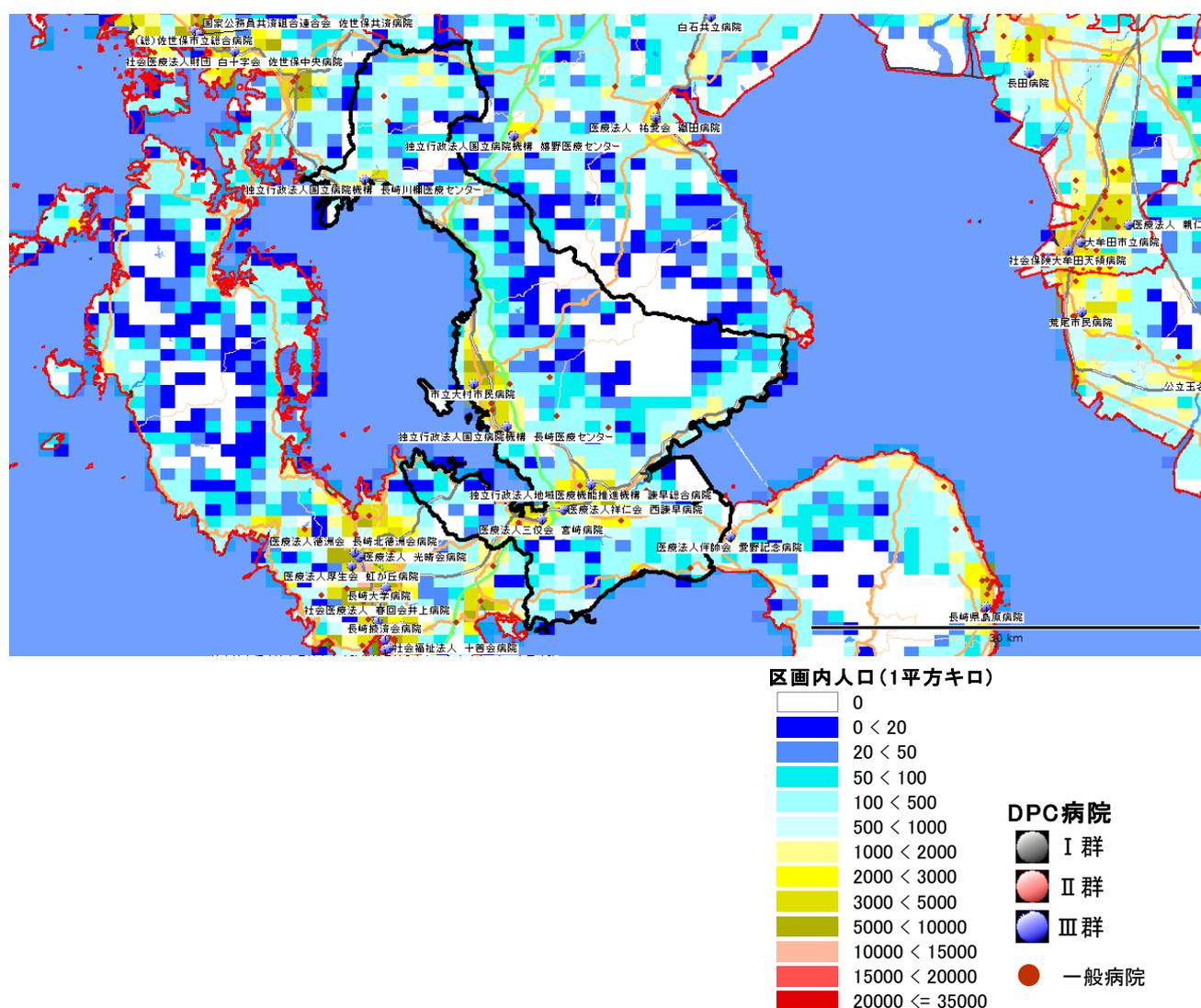
⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

けんおう

42-3. 県央医療圏

構成市区町村¹ 諫早市,大村市,東彼杵町,川棚町,波佐見町

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 県央医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(諫早市)は、総人口約 266 千人(2015 年推計)、面積 615 km²、人口密度は 432 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は 2025 年に 253 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 225 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 36 千人が、2025 年にかけて 46 千人へと増加し(2015 年比+28%)、2040 年には 51 千人へと増加する(2025 年比+11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は 364 千円(偏差値 63)、介護給付費は 250 千円(偏差値 50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.2 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 57(病院医師数 57、診療所医師数 53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 69 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 62 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。県央には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の長崎医療センター(救命)、500 例以上の諫早総合病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 57 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 61 と多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 69 で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 59 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3048 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1686 床(偏差値 41)、高齢者住宅等が 1362 床(偏差値 51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2655 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 45、特別養護老人ホーム 44、介護療養型医療施設 43、有料老人ホーム 38、軽費ホーム 51、グループホーム 66、サ高住 57 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 75 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 49

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、410人（75歳以上1000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

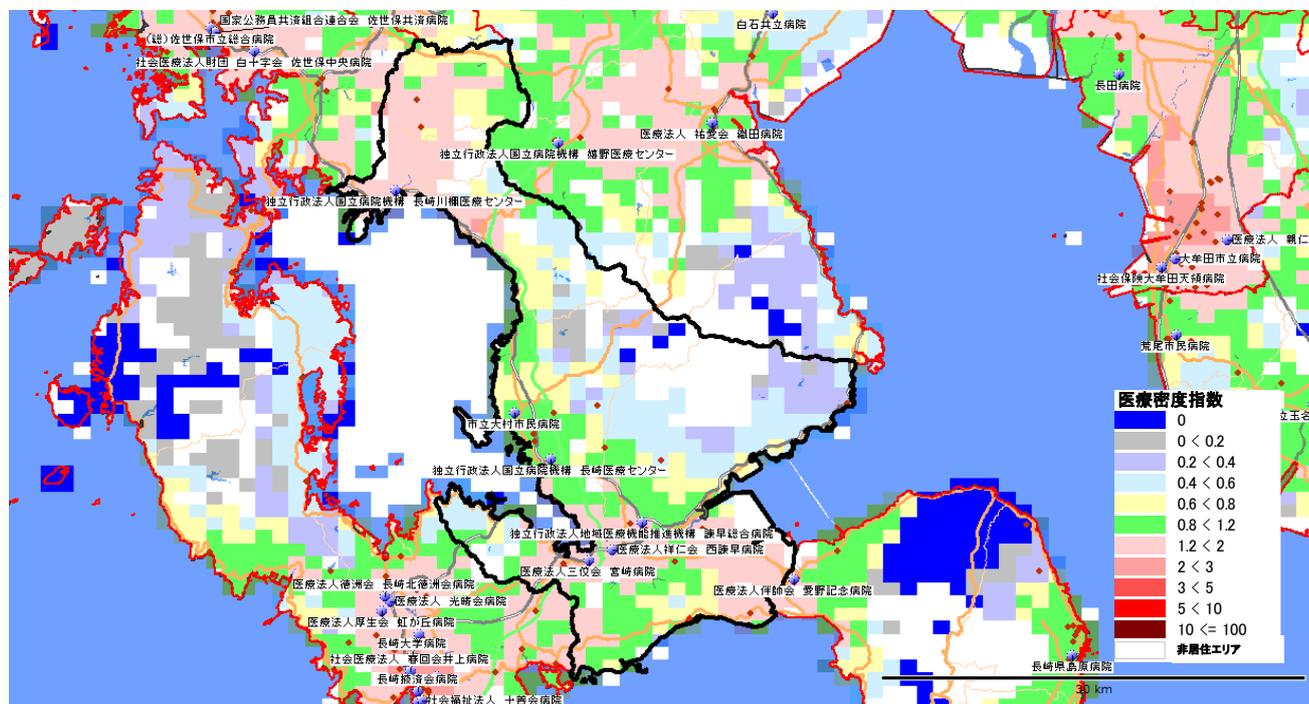
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は-23%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-75%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

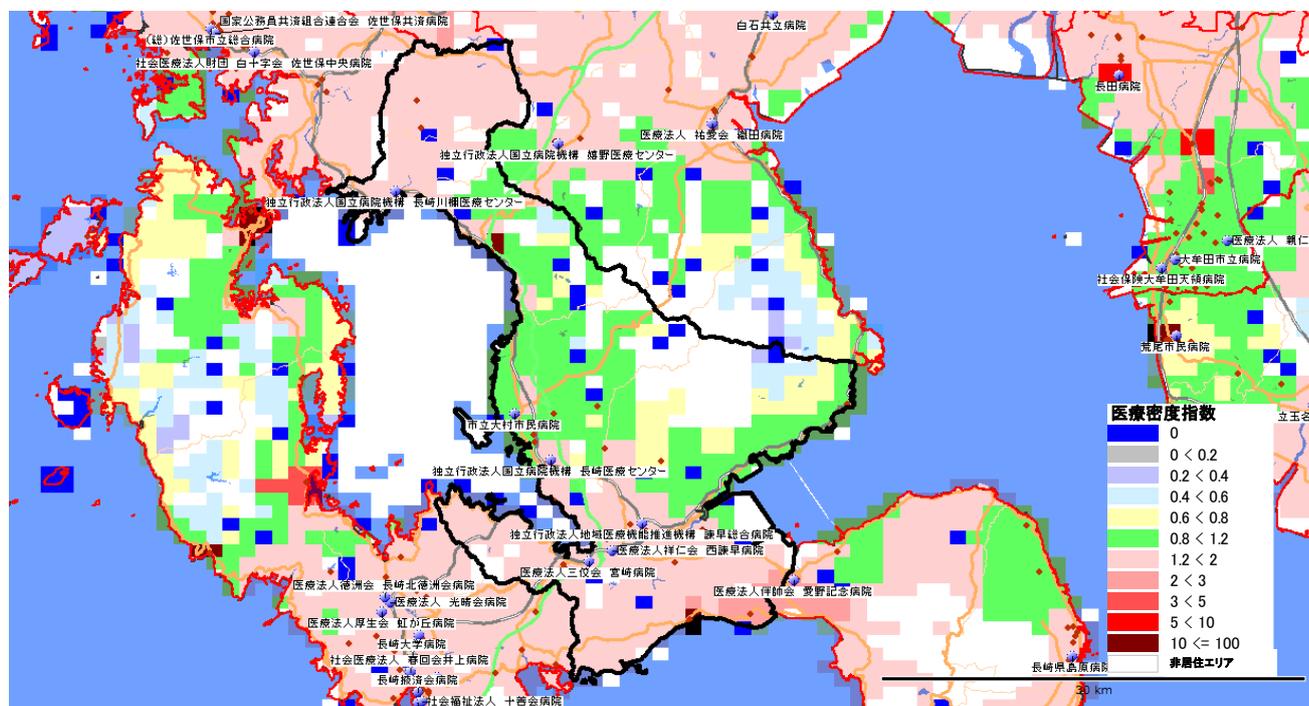
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-3-2 慢性期医療密度指数マップ

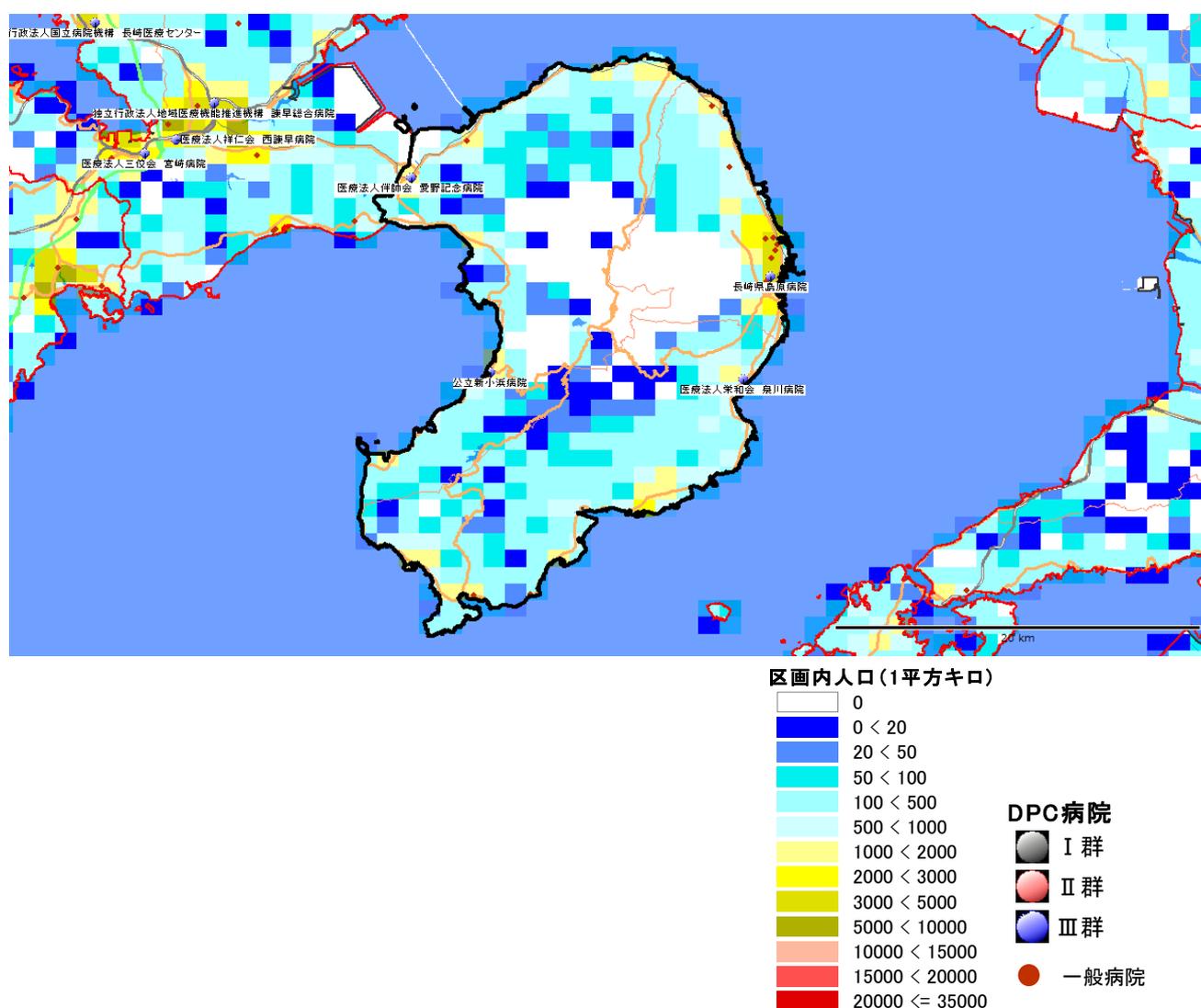


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

けんなん 42-4. 県南医療圏

構成市区町村¹ 島原市,雲仙市,南島原市

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 県南医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南(島原市)は、総人口約 136 千人(2015 年推計)、面積 460 km²、人口密度は 297 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南の総人口は 2025 年に 119 千人へと減少し(2015 年比-13%)、2040 年に 95 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 26 千人が、2025 年にかけて 28 千人へと増加し(2015 年比+8%)、2040 年には 28 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は 330 千円(偏差値 55)、介護給付費は 329 千円(偏差値 72)であり、医療費はやや高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.55、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.66 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 43、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 58 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 47 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 35 と少ない。県南には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 69 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 56 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 58 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3123 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1568 床(偏差値 51)、高齢者住宅等が 1555 床(偏差値 66)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2374 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 54、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 70、グループホーム 94、サ高住 53 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 53 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 59 と多い。介護職員(在宅)の合計は、144 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 36)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

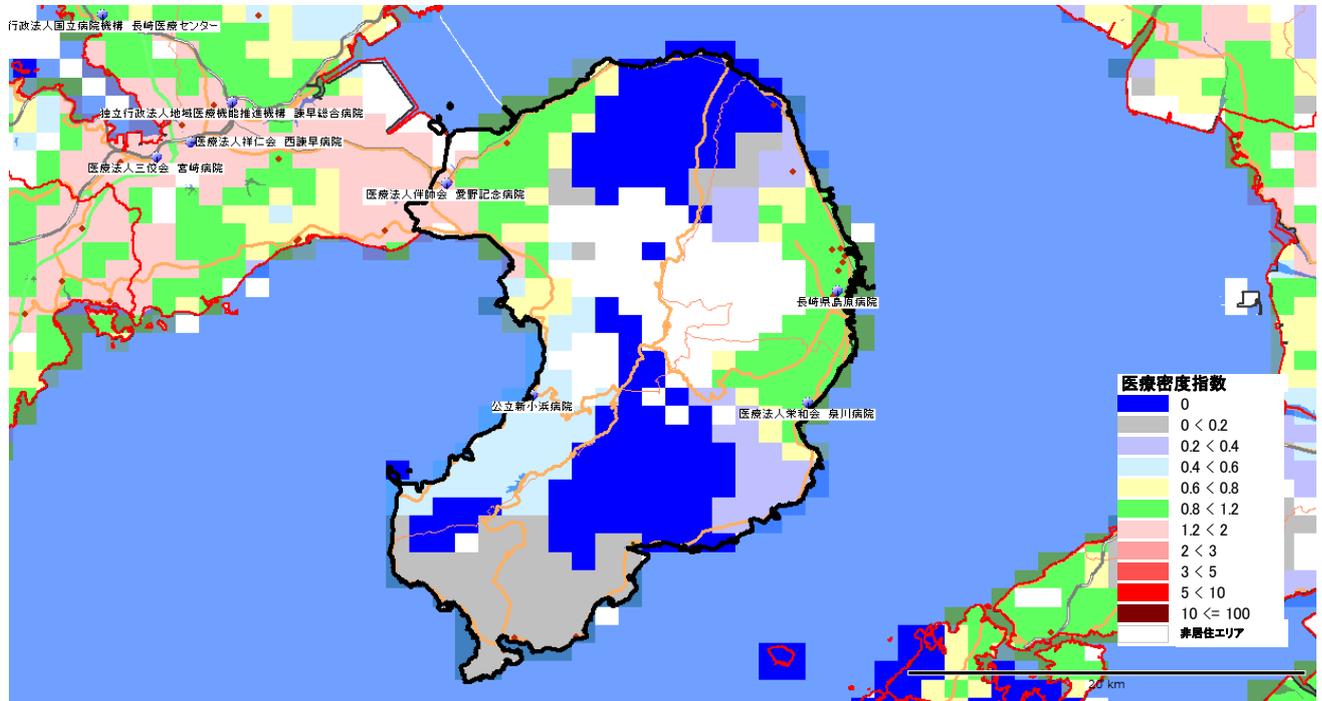
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+20%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

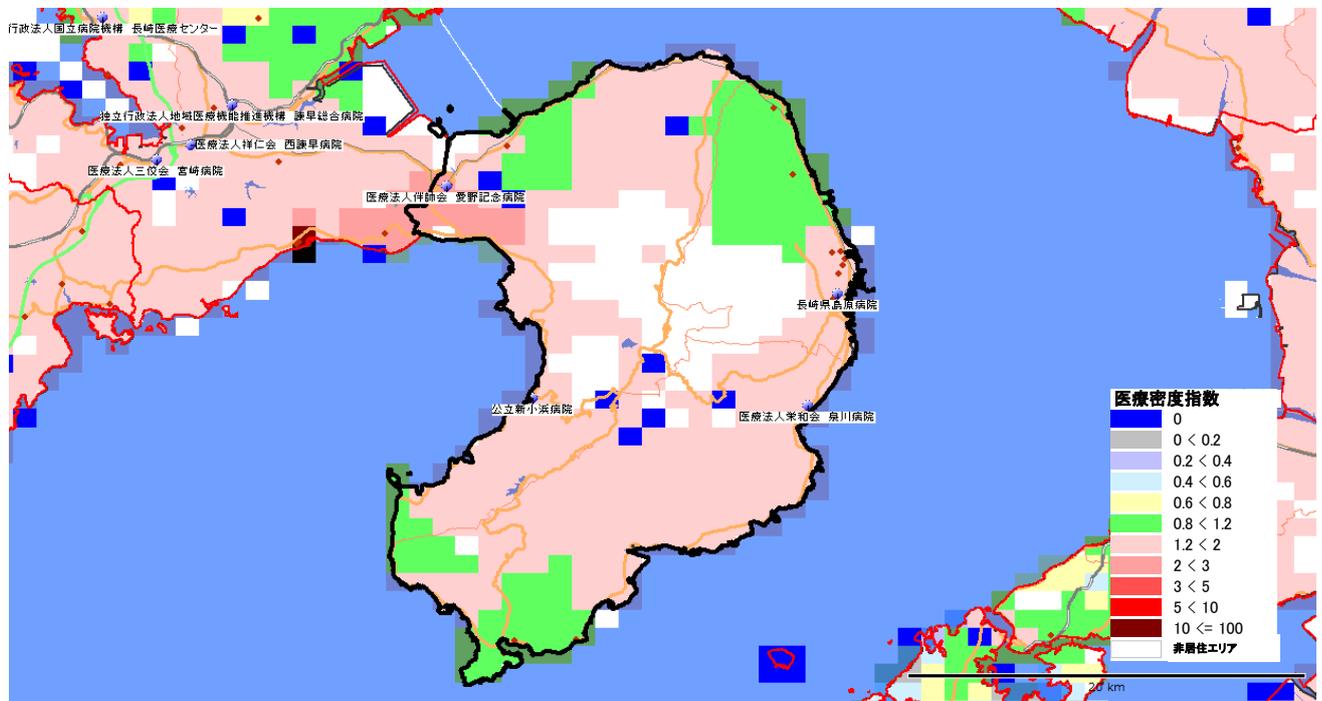
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-4-2 慢性期医療密度指数マップ

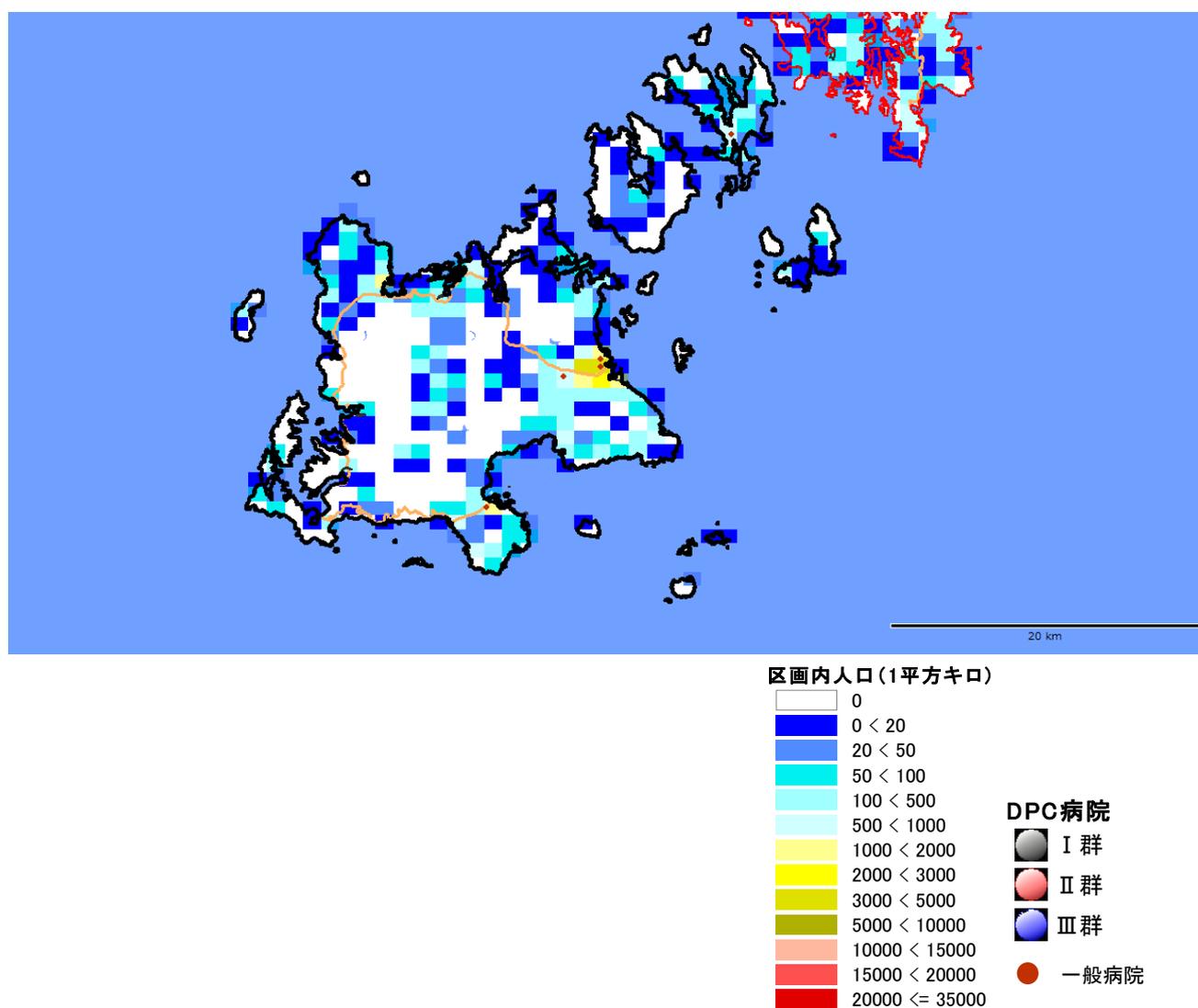


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

42-5. ごとう 五島医療圏

構成市区町村¹ [五島市](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 五島医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 五島(五島市)は、総人口約 37 千人(2015 年推計)、面積 421 km²、人口密度は 88 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 五島の総人口は 2025 年に 31 千人へと減少し(2015 年比-16%)、2040 年に 22 千人へと減少する(2025 年比-29%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 8 千人が、2025 年にかけて 8 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 8 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 五島の一人当たり医療費(国保)は 316 千円(偏差値 52)、介護給付費は 367 千円(偏差値 82)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 五島の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.06 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 47(病院医師数 46、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 70 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。五島には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 40 と少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 45 で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 67 で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、909 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 546 床(偏差値 56)、高齢者住宅等が 363 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、803 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 66)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 55、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 100、サ高住 40 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 33 と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

60 と多い。介護職員（在宅）の合計は、144 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

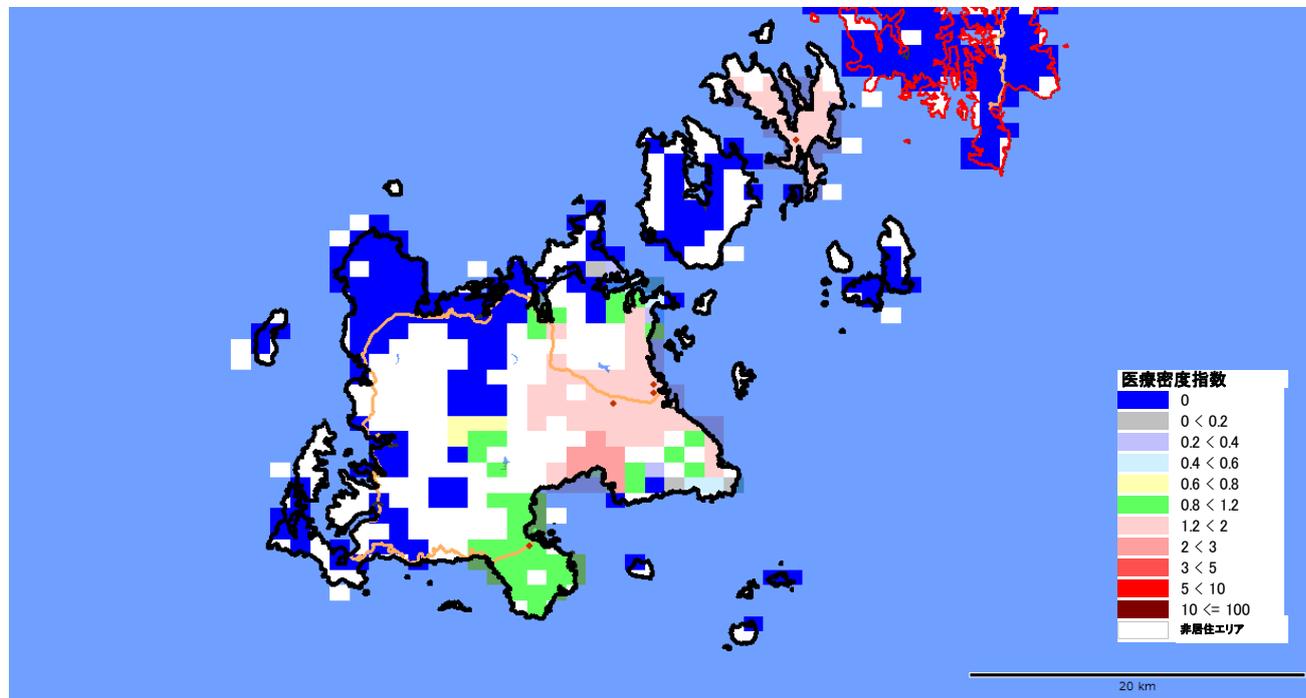
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+20%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+23%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

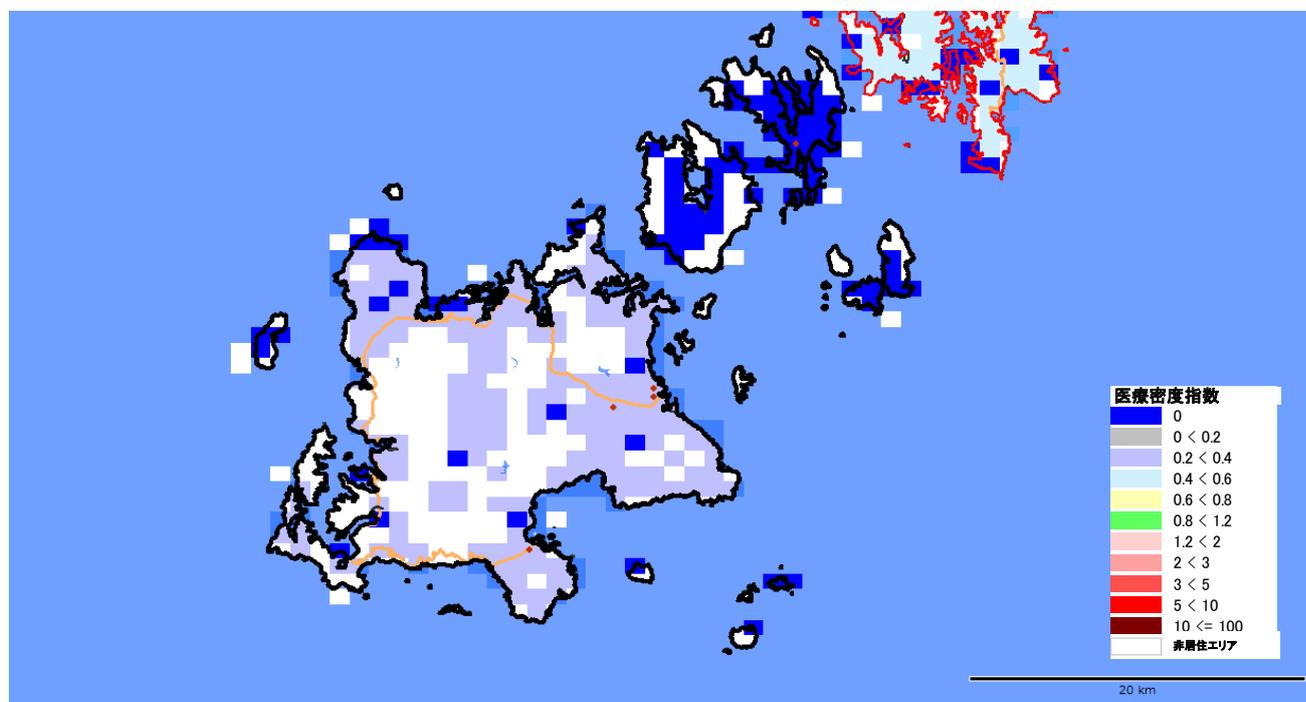
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-5-2 慢性期医療密度指数マップ

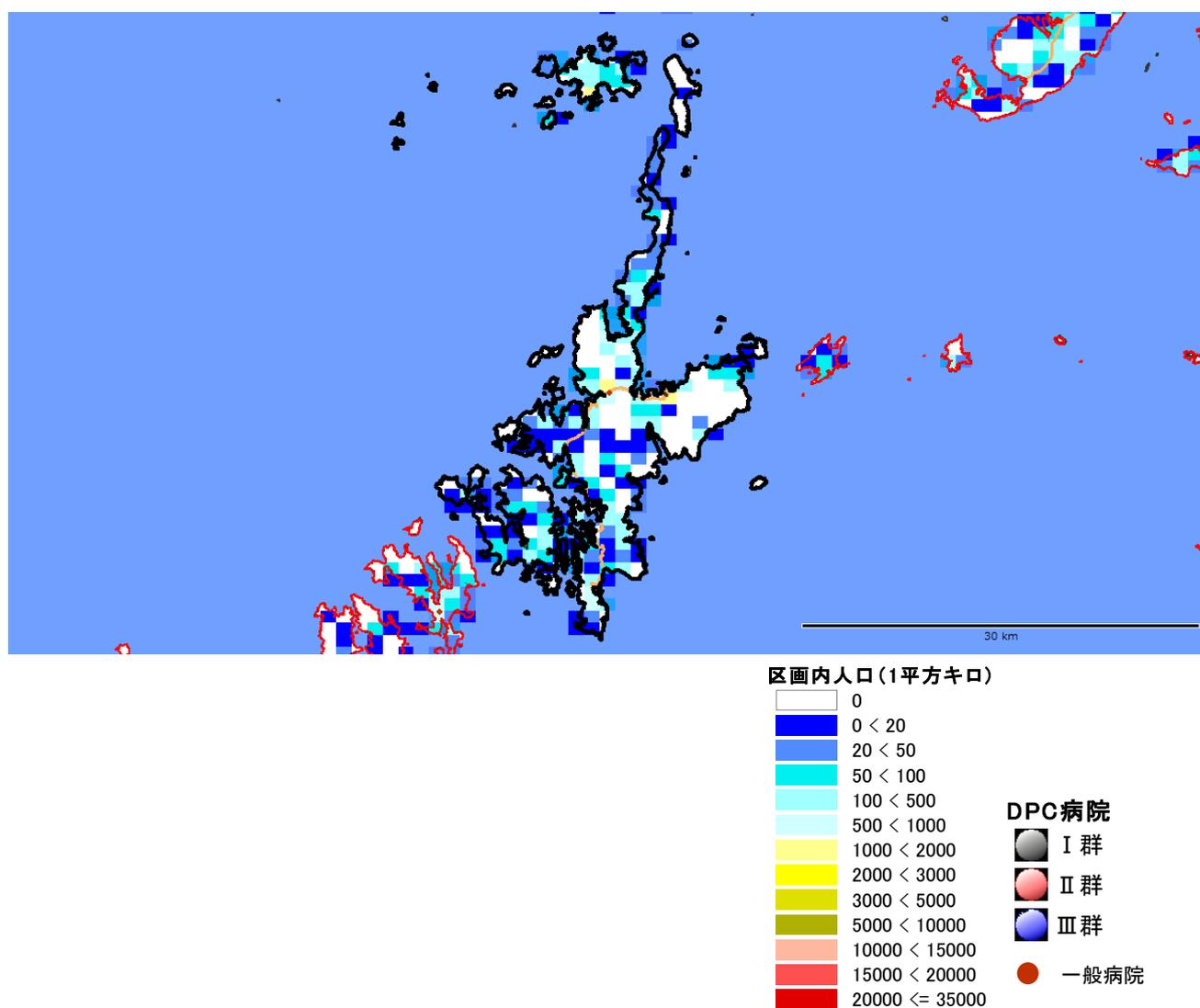


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

かみごとう 42-6. 上五島医療圏

構成市区町村¹ 小値賀町,新上五島町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 上五島医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(上五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上五島(新上五島町)は、総人口約 22 千人(2015 年推計)、面積 239 km²、人口密度は 92 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上五島の総人口は 2025 年に 17 千人へと減少し(2015 年比-23%)、2040 年に 12 千人へと減少する(2025 年比-29%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 5 千人が、2025 年にかけて 5 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 4 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上五島の一人当たり医療費(国保)は 317 千円(偏差値 52)、介護給付費は 333 千円(偏差値 72)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上五島の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.51、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.75 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 43、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 45 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。上五島には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 40 と少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 精神病床は存在しない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 63 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、543 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 395 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 148 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、559 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 75)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 68、特別養護老人ホーム 64、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 68、サ高住 44 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。介護職員（在宅）の合計は、43人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

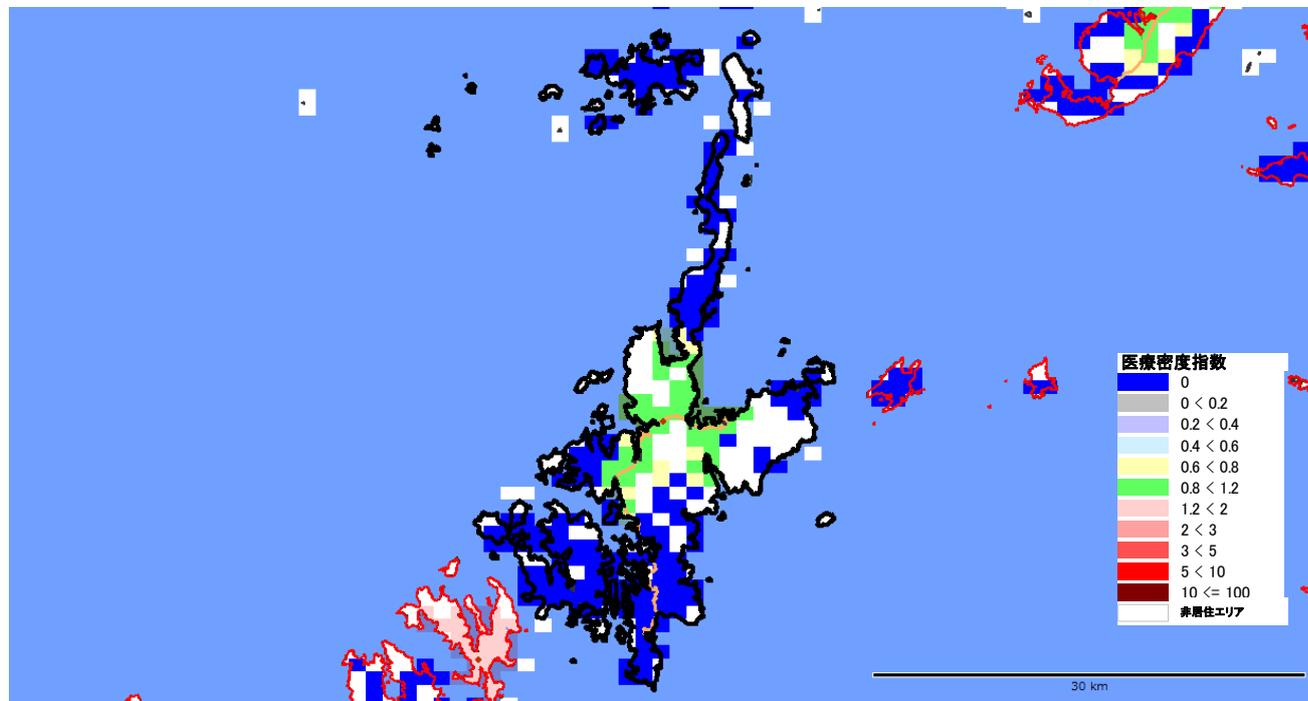
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+18%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+29%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

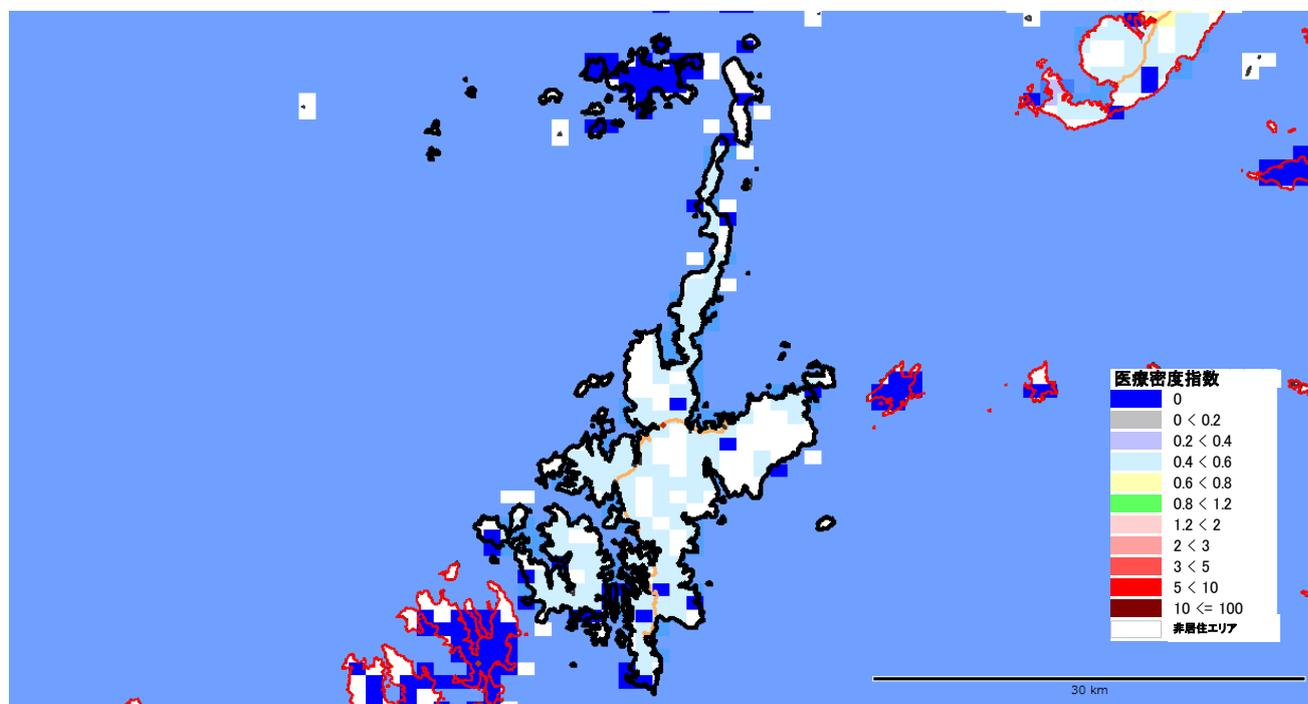
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-6-2 慢性期医療密度指数マップ

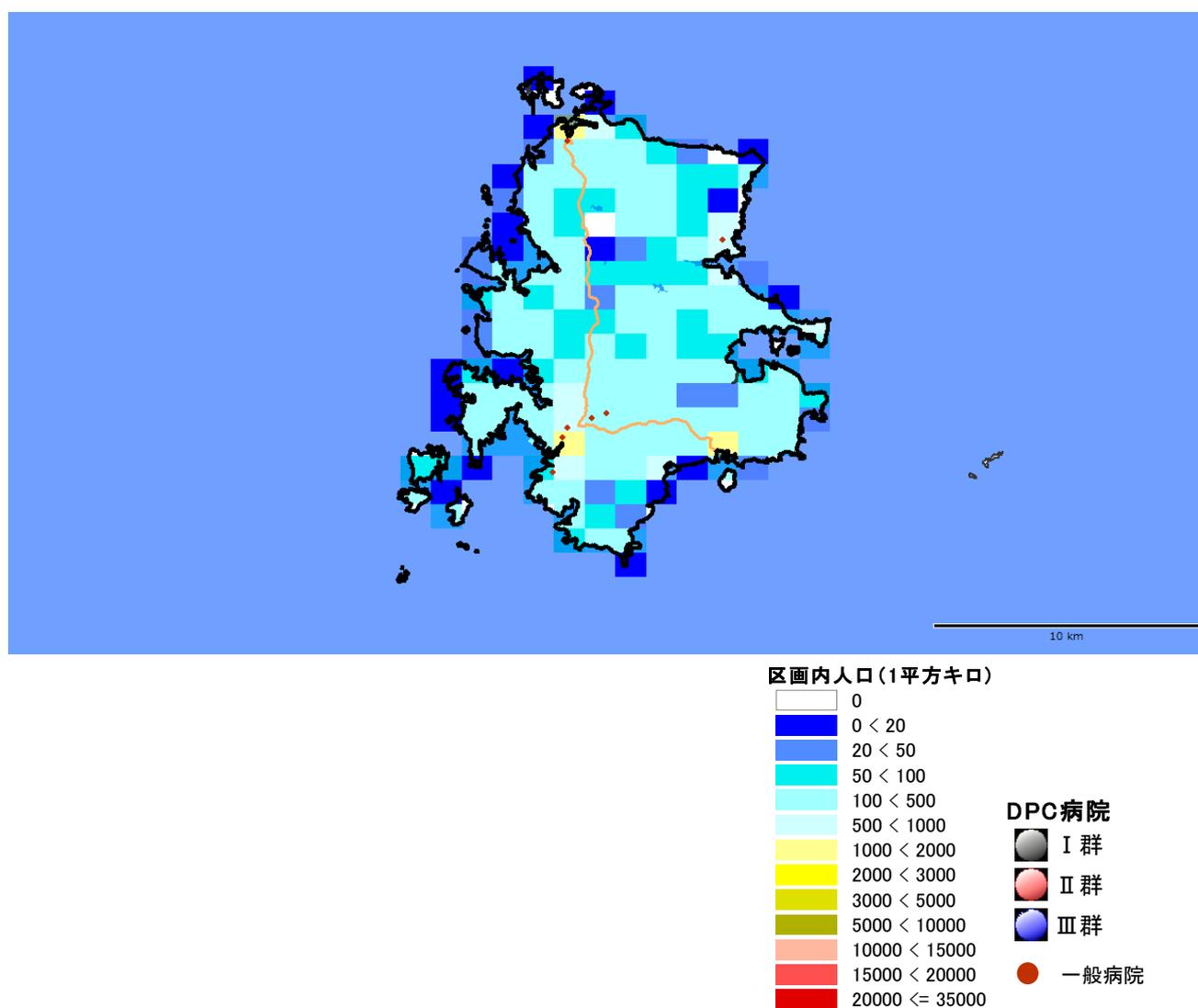


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

42-7. い き 壱岐医療圏

構成市区町村¹ [壱岐市](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 壱岐医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(壱岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 壱岐(壱岐市)は、総人口約 27 千人(2015 年推計)、面積 139 km²、人口密度は 197 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 壱岐の総人口は 2025 年に 24 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 19 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 5 千人が、2025 年にかけて 6 千人へと増加し(2015 年比+20%)、2040 年には 5 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 壱岐の一人当たり医療費(国保)は 338 千円(偏差値 57)、介護給付費は 272 千円(偏差値 56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 壱岐の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.82 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 52、診療所医師数 35)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 53 とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 59 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 42 と少ない。壱岐には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 82 と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は存在しない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 39 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 壱岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、378 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 340 床(偏差値 53)、高齢者住宅等が 38 床(偏差値 29)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、359 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 63、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 49、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 36、サ高住 37 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 70 と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、87 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55) で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

【医療と介護の需要予測】

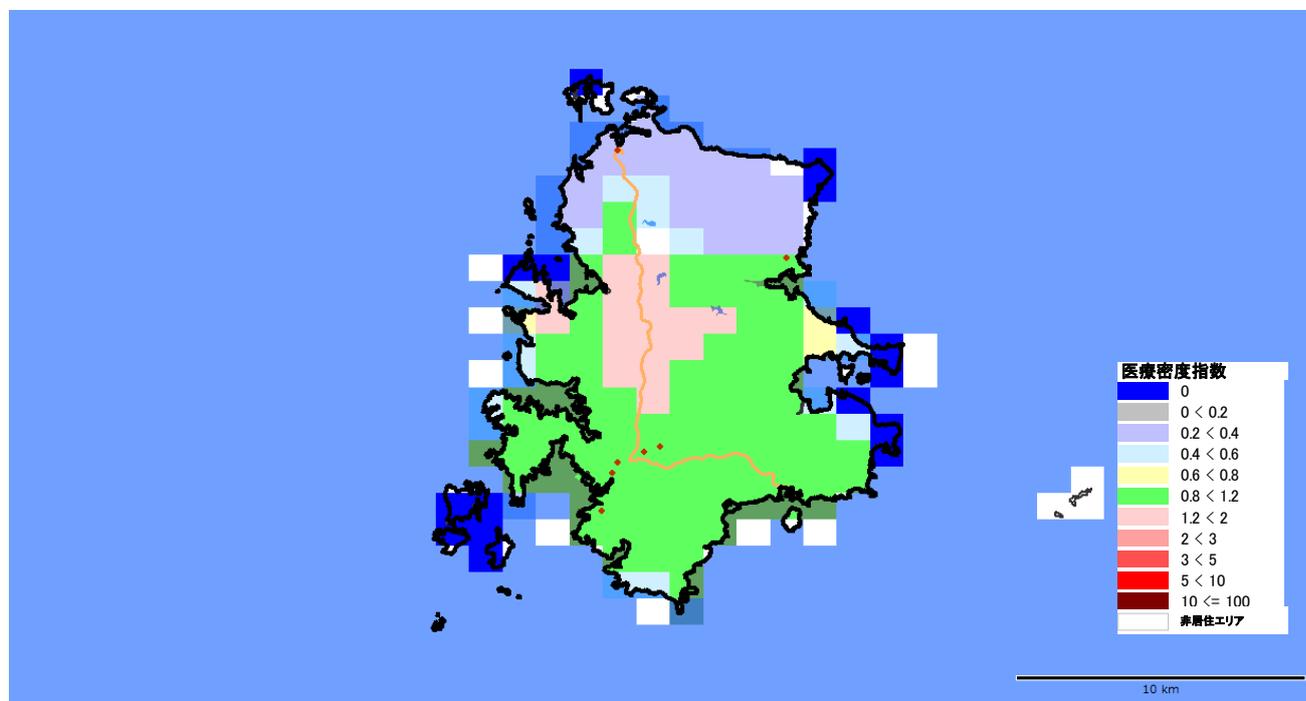
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－30%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－18%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

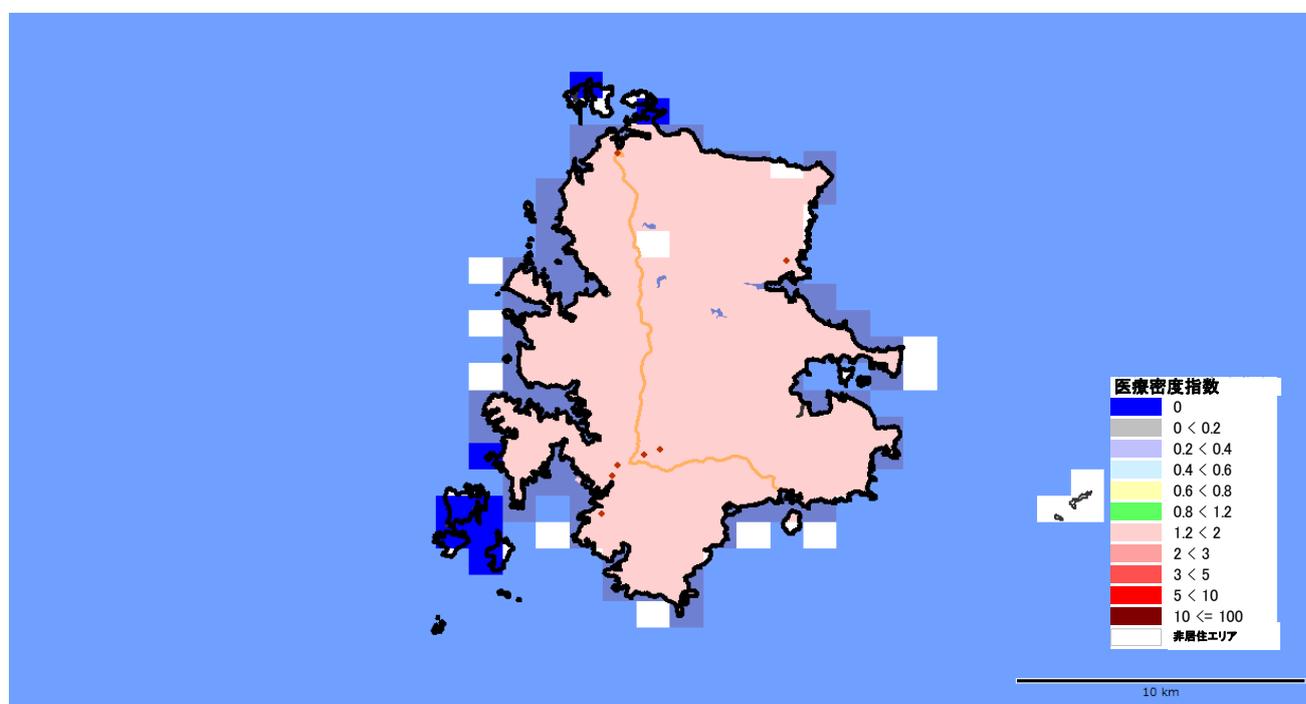
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-7-2 慢性期医療密度指数マップ

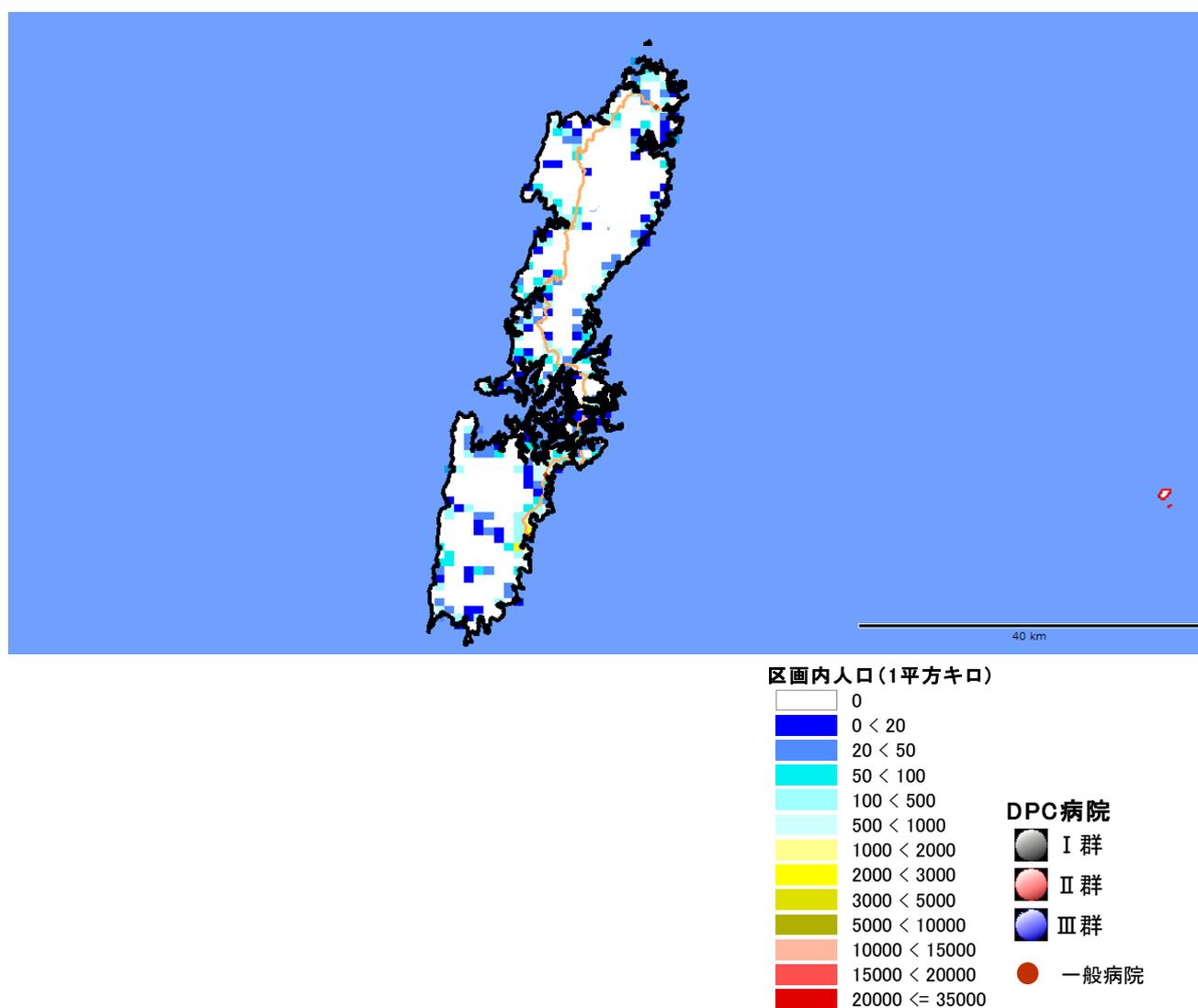


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

42-8. つしま 対馬医療圏

構成市区町村¹ [対馬市](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 対馬医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(対馬医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 対馬(対馬市)は、総人口約 31 千人(2015 年推計)、面積 709 km²、人口密度は 44 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 対馬の総人口は 2025 年に 25 千人へと減少し(2015 年比-19%)、2040 年に 18 千人へと減少する(2025 年比-28%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 6 千人が、2025 年にかけて 6 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 5 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 対馬の一人当たり医療費(国保)は 328 千円(偏差値 54)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 対馬の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.05 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 41(病院医師数 44、診療所医師数 38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 53 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 62 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 37 と少ない。対馬には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 43 と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 59 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 対馬の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、530 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 390 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 140 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、452 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 61、特別養護老人ホーム 57、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 90、グループホーム 58、サ高住なし(偏差値 31)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。介護職員

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

(在宅)の合計は、38人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

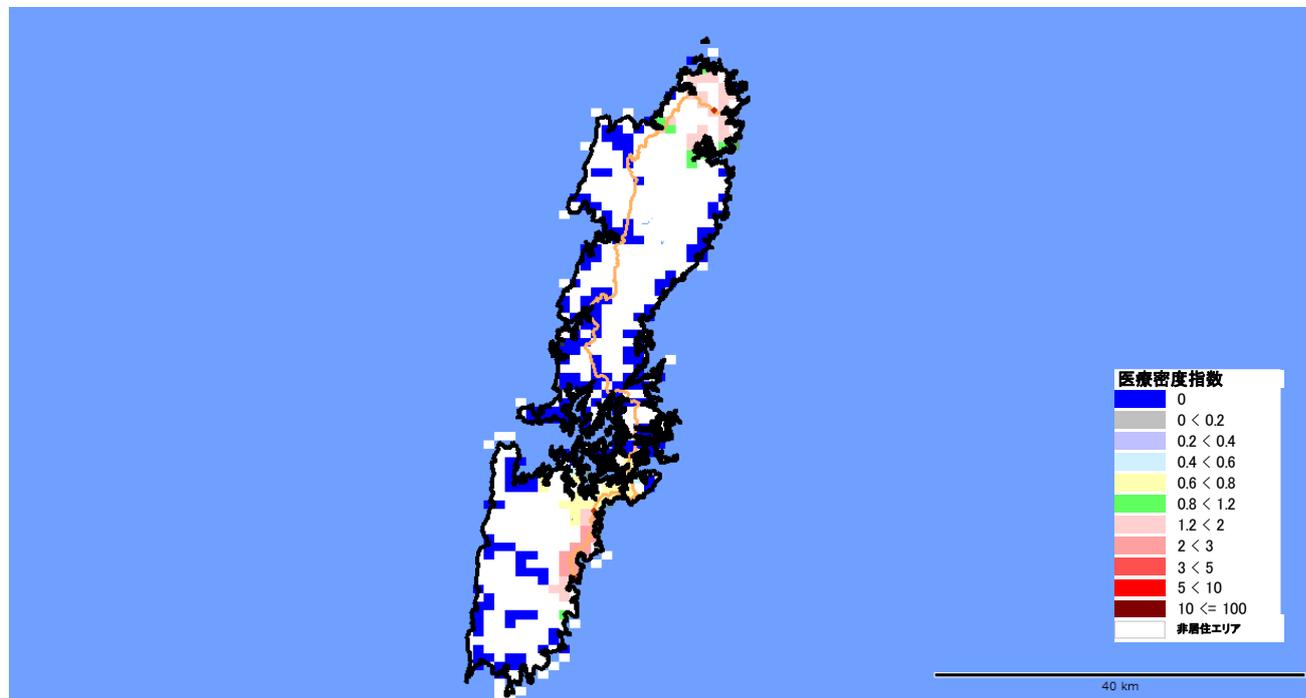
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

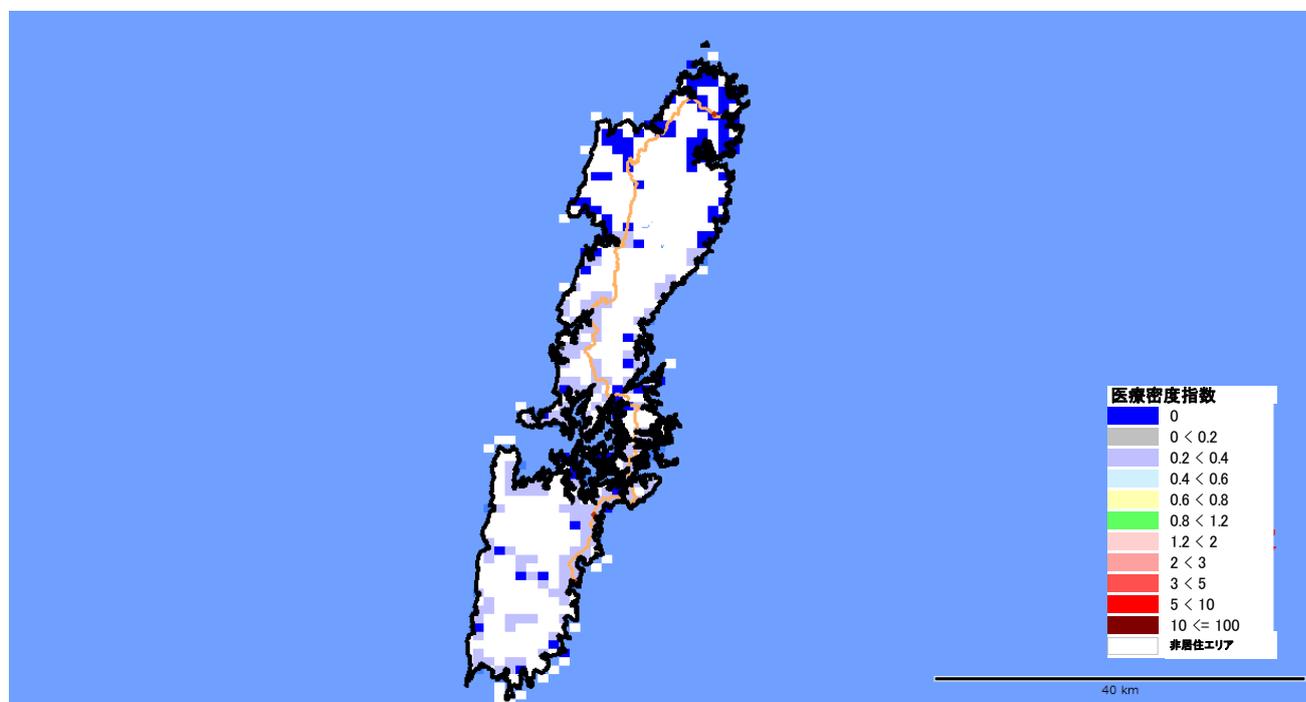
42. 長崎県

2. 医療密度⁵

図表 42-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表 42-8-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。